

平成24年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の結果に関する報告書



志摩市教育委員会

目 次

I	教育総務費	・・・	3
II	小学校費	・・・	12
III	中学校費	・・・	18
IV	幼稚園費	・・・	23
V	社会教育費	・・・	26
VI	保健体育費	・・・	53
VII	災害復旧費	・・・	74
VIII	その他	・・・	74
IX	学識経験者の意見	・・・	75

施策の成果及び執行実績

I 教育総務費

1 教育委員会費

- (1) 教育委員会一般経費 251,850 円 【教育総務課】

定例・臨時教育委員会の開催に関する経費、県・東海北陸・全国の教育委員会の連携を図るため、負担金等の経費として支出をおこなった。

①教育委員会の開催

開催回数 定例教育委員会 12回、臨時教育委員会 5回

審議内容

会議録に関すること	12件
人事に関すること	13件
財政に関すること	6件
教育委員会の承認に関すること	9件
委嘱に関すること	18件
条例に関すること	25件
その他	48件

- (2) 教育長交際費 30,000 円 【教育総務課】

教育委員会関係の慶弔や奨励などに教育長交際費を充てた。

- (3) 教育委員活動経費 3,205,400 円 【教育総務課】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第2条の規定により設置された教育委員会の委員の活動経費として委員報酬等を負担する。

教育委員長報酬	840,000円
教育委員報酬	2,340,000円
費用弁償	25,400円

年間活動延べ日数

定例会以外の教育委員会 関連業務・行事	147日	学校行事	92日	市の行事	71日	その他	37日
------------------------	------	------	-----	------	-----	-----	-----

【点検及び評価】

原則、毎月20日に定例の教育委員会を開催し、各案件に対して委員による審議や情報交換等を行っているが、定例会までに審議しなければならない補正予算等の案件が生じたため、臨時の教育委員会を開催した。

教育委員4名中、保護者である委員2名、女性の委員1名で構成されており、志摩市の幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していくうえで、重要な合議制の執行機関の役割を担っている。

また、会議以外にも教育委員として多くの市の教育に関する行事に参加出席し現状把握等に努めてもらっている。

施策の成果及び執行実績

2 事務局総務費

(1) 事務局総務一般経費 3,023,718 円 【教育総務課】

教育委員会事務局の一般経費として支出した。

主な支出項目は小中学校再編推進事業のほか以下のとおり

臨時職員賃金（庶務補助）	1,887,125円
備品購入費（環境衛生検査機器購入）	641,550円
時間外勤務手当（学校再編準備会等）	413,878円
消耗品費	46,677円

【点検及び評価】

教育委員会事務局の通常業務のほか、平成21年11月に策定した「志摩市立小中学校再編基本計画」に準じ、学校教育課と連携して大王地区・志摩地区・安乗東海地区・的矢地区の再編準備会を開催し、再編を推進した。

大王地区については準備会での協議事項をもとに大王中学校が設立となり、平成25年3月に波切中学校、船越中学校両中学校の閉校式をおこなった。また、的矢地区については的矢中学校が文岡中学校へ編入となり、同校の閉校式を平成25年3月におこなった。安乗東海地区については引き続き準備会での協議を進めている。

そのほか平成24年度緊急雇用創出事業を活用し、会議資料や会議録の作成などの事務補助職員を雇用した。

(2) 奨学金貸与事業 916,774 円 【教育総務課】

経済的理由により修学困難な者に対し奨学基金から奨学金を貸与し、修学の機会を広め、将来社会に有用な人材を育成するための事業として実施した。

貸与	高校生	新規	10人	2,400,000円
		継続	14人	3,360,000円
	大学生	新規	7人	2,520,000円
		継続	23人	8,280,000円
貸与合計				16,560,000円

平成24年度から基金運用にて事業実施

【点検及び評価】

経済的な理由により就学困難な者に就学の機会を広めることを目的に、高校生及び大学生等で奨学金の貸与を希望する者より、その申請を受け、奨学生選考委員会で審査し、貸与を行っている。前年度までは基金から一般会計へ繰入を行い奨学生に貸与していたが、今年度から基金での事業実施となった。

高校の授業料無料化に伴い、高校生の申請は減少傾向にあるものの長引く不況の影響から大学生の申請は増加傾向にある。

経済的な理由による就学困難な者に就学の機会を広げるため、有益な事業と考える。

施策の成果及び執行実績

(3) 通学専用バス運行費助成事業 1,500,000 円 【教育総務課】

伊勢方面に通学する浜島・志摩・大王・阿児町在住と志摩高校へ通学する志摩・大王町在住の高校生を対象に専用バスの運行を確保することで、利便性の向上と非行防止及び保護者の経済的負担の軽減を図った。

負担金補助及び交付金	1,500,000 円
伊勢通学専用バス運行費助成金	1,260,000 円
志摩高校通学専用バス運行費助成金	240,000 円

【点検及び評価】

一般の路線バス利用者とは別に専用バスを高校の近くまで乗り入れることで、通学時間の短縮につながっている。また、自宅通学が可能となることにより、下宿する必要がなくなることで、規律正しい生活の確保や保護者の経済的負担の軽減につながっているため大切な事業である。

(4) 教育施設防災備品購入事業 5,015,192 円 【教育総務課】

市全域が東海・東南海・南海大震災の危険地域に指定されていることもあり、水害や津波、その他起こりうる災害に備えるため、市内の小中学校、幼稚園にヘルメットや救命胴衣などの防災備品を購入した。(単年度事業)

【点検及び評価】

南海トラフによる東海・東南海・南海大震災の危険性が話題となるなか、もしもの事態に備える事により、安心安全な小中学校、幼稚園での生活が可能となる。また、同時に防災に関する意識も向上し、危機管理対応ができる学校づくりにつながっている。

3 事務局学事庶務費

(1) 事務局学事庶務一般経費 1,820,774 円 【学校教育課】

小中学校・幼稚園の学事庶務全般に係る一般事務経費

(2) スクールバス運行管理事業 3,238,440 円 【学校教育課】

浜島小学校の遠距離通学者に対してスクールバスの運行を委託

(3) 学校保健事業 2,278,512 円 【学校教育課】

学校保健安全法の規定により義務付けられている教職員健康診断や翌年度就学予定児童(354人)を対象とした健康診断を実施

施策の成果及び執行実績

4 事務局指導費

- (1) 事務局指導一般経費 19,275,951 円 【学校教育課】

教育指導員・学校評議員・学校運営協議会委員の報酬や教職員指導用教科書購入費、メール配信システム利用料、AEDリース料、各種負担金など、学校運営及び事務局にかかる一般経費

- (2) 職場体験事業 706,215 円 【学校教育課】

自分発見！中学生・地域ふれあい事業

事業名	事業費	学校名等	備考
自分発見！中学生・地域ふれあい事業	706,215円	中学校2年生対象 全11校18学級	市単

【点検及び評価】

本年度は市外事業所も対象とし、自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象に、学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験活動を実施することで、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。

- (3) 外国語指導助手事業 18,244,800 円 【学校教育課】

小学校113回、中学校679回
※延派遣回数（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

業務名	契約金額	契約業者	備考
外国人英語指導業務	8,484,000円	(株)アルティアセントラル (H24.4.1～H24.7.31)	4人
	9,760,800円	(株)インタラック名古屋支店 (H24.9.1～H25.3.31)	

【点検及び評価】

小学校におけるALTの活用については、新学習指導要領により小学校5・6年で週1コマ「外国語活動」を実施しており、小学校の英語教育の重要性が高まる中、各中学校と日程調整を行い、できる限り小学校への派遣を確保することに努めた。

平成23年度は、志摩市で4人のALTの体制になっており、小学校ではじまった外国語活動への対応が十分できない状況になっていた。しかし、小学校での外国語活動の授業に対応すべく、緊急雇用創出基金事業市町等補助金を活用し、小学校英語教育補助員を2名雇用し取組を推進した。このことにより各小学校からの要請に十分応えることができた。

ALTとの授業で児童生徒が見せる生き生きとした学習態度が、この事業の何よりの効果の現れと現場の教師の声を多くいただいている。各学校へのALTの派遣は、国際化社会が進展する中、重要な施策と考える。

施策の成果及び執行実績

(4) 授業研究指定校モデル事業 950,000 円 【学校教育課】

志摩市の子ども「学び」を実現するために、その第一歩として「学び」の基礎・基本となる教科の学習を充実させた。

授業研究指定校事業	950,000円	畔名小 甲賀小 国府小 的矢小 船越中 文岡中 中 波切小 船越小 立神小 片田中 和具中 越賀中	市単
-----------	----------	---	----

【点検及び評価】

一人ひとりの子どもに確かな学力を保障するため、以下の7小学校及び中学校6校で指定研究を実施した。

＜授業研究指定校の2年次の学校 . . . 小学校4校、中学校3校＞

畔名小学校では、「ともに学び合い、高め合う子どもの育成」として算数科を中心に、考えを交流する授業を通して学力の向上をめざした。学習課題の精選や課題提示の工夫をおこなったり、考えを表現し伝える力を向上させるためにホワイトボードやノートを活用したりする等の取組を進めてきた。11月22日には研究発表会を実施し、研究の成果を発表した。

甲賀小学校では、「一人ひとりを大切にし、お互いに認め合える子をめざして」として説明文的文章の読み取りを通して、読みの力を育てる研究を中心に授業改善の取組を進めてきた。11月9日には研究発表会を実施し、研究の成果を発表した。

国府小学校では、「一人ひとりが考えを持ち、伝え合い、学び合う授業」として手立ての工夫・教師の授業力の向上をめざして取組を進めた。研究授業の事後反省会をワークショップ型にして多くの意見を出し合い、授業改善につなげるようにした。11月2日には研究発表会を実施し、研究の成果を発表した。

的矢小学校では、「お互いの思いを伝え合い、認め合う集団づくり」をめざした。自分の考えを表現できない子どものために、安心して自分を表現できる集団づくりをめざすとともに、国語科の文学教材を通して教材解釈を深め、教師の指導力の向上に努めた。10月26日には研究発表会を実施し、研究の成果を発表した。

船越中学校では、「確かな学力を身につけた生徒の育成」をめざして研究を進めた。生徒に学ぶ楽しさを味わわせ、学びへの意欲を向上させる手立てや生徒の基礎学力の向上をはかるための取組を進めてきた。10月5日には研究発表会を実施し、研究の成果を発表した。

文岡中学校では、「自己の課題を持ち、主体的な態度で学ぼうとする生徒の育成」をめざして研究を進めた。生徒の学力の向上や主体的な態度を育むために、教科の特性も考えながら、授業では2段階の学習課題を提示し、少人数のグループ学習を取り入れた。10月19日には研究発表会を実施し、研究の成果を発表した。

的矢中学校では、「自らに向き合い、自らを高めようとする生徒の育成」をめざして研究を進めた。授業において「教えること」と「考えさせること」を意識した授業づくりを進め、基礎・基本の定着とともに活用する力を育んだ。10月26日には研究発表会を実施し、研究の成果を発表した。

＜授業研究指定校の1年次の学校 . . . 小学校3校、中学校3校＞

波切小学校では、「自分の考えを持ち、生き生きと表現する子」をめざしている。児童の表現力を育むために、国語科の授業を中心にすえ、学習課題を検討、精選し、授業の中で少人数グループを活用しながら、意見を交流する場を設定し授業研究を進めている。

(次ページへつづく)

【点検及び評価】 つづき

船越小学校では、「仲間とともにたくましく豊かに生きる子どもの育成をめざして」とテーマを設定し研究を進めている。授業では子どもたちが「聴き合い」「伝え合う」場面を設定する。事後検討会では、子どもにとって授業がどうだったのか振り返ることで、授業改善につなげていく。

立神小学校では、「伝え合い、学びあう子どもの育成」をめざして研究を進めている。国語科の文学的文章を①自分の読みを持つ、②自分の読みを発信する、③自分の読みを深めたり広げたりする、の3ステップを通して読み、伝え合う、学び合う学習スタイルを確立しようとしている。

片田中学校では、「確かな学力の定着をめざして学び合いができる集団の育成」をめざして研究を進めている。「わかる」授業をめざすとともに授業の中に①個人での思考・活動 ②ペア・グループでの思考・活動 ③全体での表現・共有 の3場面を取り入れ、生徒自らが考える授業を構築していく。

和具中学校では、「授業のユニバーサルデザインを創造し、全ての生徒の確かな学びを追求する」をめざして研究を進めている。全ての生徒が楽しく、わかる・できるように、①目標の提示 ②個人追及 ③磨きあい ④ふり返り場面を取り入れた授業スタイルによる授業を試行・検証している。

越賀中学校では、「『教えて考えさせる授業』を通して自ら学び、高め合う生徒を育成する」ことをめざして研究を進めている。授業の中で「教える」、「考えさせる」場面を設定し、基礎基本の確実な定着をめざすとともにそれらを活用する力を育成しようとしている。

授業研究として、より深い教材の解釈や研究、分かりやすい授業を作るための教材・教具の工夫、互いを高めあう授業づくり、グループ学習などの授業形態の工夫、授業展開の工夫など様々な取組が進んできた。

それぞれの学校においては、基礎的・基本的な知識や技能の定着については、反復指導・補充学習・家庭学習・評価の工夫で一定の成果を得ることができた。

今後も一人ひとりの子どもに確かな学力を保障するため、意欲を引き出すための授業改善を推進するとともに、家庭との連携による学習習慣の定着を図り、授業研究の推進に取り組みたい。また、子ども自身が学びを実感できる授業づくりも研究の視点としたい。

(5) 学校図書館運営補助員巡回事業 31,154,541 円 【学校教育課】

県の緊急雇用創出基金事業市町村等補助金を活用した事業であり、小中学校に週2回補助員が巡回し、資料整備（選書、受入、除籍）・管内整備（書架整理、ディスプレイの設置）・読書活動推進（テーマコーナーの設置、読み聞かせ）・授業サポート等の業務を行うことにより、学校図書館の活性化と児童生徒の読書活動の促進を図った。

学校図書館運営補助員巡回事業	31,154,541円	株式会社 リブネット	18人
----------------	-------------	------------	-----

【点検及び評価】

たいへん有効な事業であった。

(6) 教育特区管理経費 127,000 円 【学校教育課】

構造改革特別区域法により認可した学校設置会社の設置する学校の経営診断及び私立学校審議会に要した経費。

施策の成果及び執行実績

- (7) 学べる里海推進事業 350,000 円 【学校教育課】

里海について考える授業を行った。

(立神小学校は、アオサ養殖ならびに真珠養殖の作業体験)

(片田小学校は、牛道小学校と磯体験を通して故郷の海を大切にする心情を育てる)

- (8) 学力定着・向上支援事業 94,000 円 【学校教育課】

新学習指導要領の円滑な実施のため、学校や児童生徒及び地域の実態を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技術を習得させ、課題解決に必要な思考力、判断力等をはぐくみ、教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を図ることにより確かな学力の育成を図った。

確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業	94,000円	磯部小、和具中	県委託 100%
----------------------	---------	---------	-------------

- (9) キャリア教育実践プロジェクト事業 150,000 円 【学校教育課】

児童生徒が勤労観・職業観や主体的に進路を選択する能力・態度を身に付け、将来自立した社会人として人生設計し積極的に社会参加できるようにするため、地域が連携して小・中・高等学校の各学校段階を通じたキャリア教育の実践研究を行った。(実践協力校は、小学校4校、中学校1校、県立水産高等学校)

キャリア教育実践プロジェクト事業	150,000円	片田小、布施田小、和具小、神明小、片田中	県委託 100%
------------------	----------	----------------------	-------------

5 情報システム管理費

- (1) 情報システム管理一般経費 24,759,935 円 【学校教育課】

- ・教育情報システムの保守委託料及び通信回線の利用料
- ・小中学校PC教室用パソコンの購入

光ケーブル利用料	151,200円	株式会社 アイティービー
	2,529,750円	松阪ケーブルテレビステーション株式会社
地域イントラ基盤設備整備事業システム保守委託	8,353,385	株式会社 松阪電子計算センター
学校情報化基盤設備事業システム保守業務委託	1,902,600円	株式会社 松阪電子計算センター
小中学校PC教室用パソコン購入	11,823,000円	株式会社 松阪電子計算センター

施策の成果及び執行実績

- (2) 情報システム作業員配置事業 1,562,765 円 【学校教育課】

教育情報システムの更改作業を円滑に進め、システム運用のフォローを行うため、県の緊急雇用創出基金事業市町村等補助金を活用し、情報システム作業員1名を配置した。

- (3) 教育情報システム更改事業 58,380,000 円 【学校教育課】

平成18年度に導入した教育情報システムの根幹となるサーバー機器とネットワーク機器が耐用年数を迎えるために機器の更改を行った。

教育情報システム更改業務	58,380,000円	株式会社 松阪電子計算センター
--------------	-------------	-----------------

6 廃校・廃園施設解体等整備事業

- (1) 旧園舎解体等整備事業 10,600,800 円 【教育総務課】

昭和12年及び昭和29年に建設された木造平屋建て467㎡の老朽化した施設を解体した。
 主な事業費は以下のとおり

環境整備業務委託料	94,500円
旧布施田幼稚園舎解体等整備工事实施設計業務委託料	556,500円
旧布施田幼稚園舎解体等整備工事費	9,949,800円

【点検及び評価】

小学校に併設された旧幼稚園の老朽化した園舎を解体することで、校庭の面積が拡大し、授業等にも有効に活用できるようになり、また、安心・安全な教育環境の提供に資することができた。

施策の成果及び執行実績

7 教職員の人事等に関する事務

☆ 平成24年度教職員人事異動概要（退職者含む）

	校長	教頭	教諭	養護	指主	栄教・学栄	事務	合計
小学校	21	15	35	4	1	0	4	80
中学校	11	8	23	3	0	0	5	50
計	32	23	58	7	1	0	9	130

☆ 平成25年度教職員人事異動概要（退職者含む）

	校長	教頭	教諭	養護	指主	栄教・学栄	事務	合計
小学校	16	7	46	8	2	0	5	84
中学校	6	5	38	1	1	1	2	54
計	22	12	84	9	3	1	7	138

【点検及び評価】

県の平成25年度教職員異動方針に基づき、志摩市教育振興ビジョンの目標である「人を育て、ふるさとを誇ることができる」教育の実現をめざし人事異動を実施した。

まず、12月に校長会議を開催し異動基本方針を伝え、それぞれの学校の経営方針に資するため、学校長からの聞き取りを実施し、その内容を県の人事担当にも伝え、各学校の定数及び教職員配置に反映した。

限られた人材の中での人事異動は、事務困難を極める。

施策の成果及び執行実績

II 小学校費

1 小学校総務管理費

- (1) 小学校総務一般経費 3,107,040 円 【教育総務課】

小学校の安心・安全な運営に必要となる経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

学校用地借上料	1,550,210円
備品修繕料	604,355円
ピアノ調律手数料	457,250円
駐車場借上料	267,480円
聴力計検査手数料	171,045円

2 小学校施設管理費

- (1) 小学校管理運営費 34,253,637 円 【教育総務課】

志摩市内の小学校施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各小学校の修繕）	9,678,095円
校舎保安業務委託料	4,876,714円
浄化槽保守管理委託料	3,923,850円
浄化槽清掃料	3,605,490円
環境整備業務委託料	2,760,796円
消防設備保守点検等委託料	2,362,050円

【点検及び評価】

小学校の施設管理のため、軽微な修繕のための修繕料は小学校に配分し、緊急対応分を保有して修繕を行った。浄化槽・電気設備・消防設備などの点検委託を行い、施設維持を行った。安心・安全な教育環境の維持管理には欠かせない事業である。

3 小学校学事庶務管理費

- (1) 小学校学事庶務一般経費 77,130,564 円 【学校教育課】

小学校の管理運営に係る経常的経費

- (2) 小学校課外活動支援事業 3,368,707 円 【学校教育課】

社会見学や学校水泳、他校との交流・交歓学習等を実施するために要する経費や児童が各種コンクールや大会に参加する場合の経費に対して補助金を交付

施策の成果及び執行実績

4 小学校保健費

- (1) 小学校保健一般経費 851,862 円 【学校教育課】

各学校の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）の手数料

- (2) 校医等報酬経費 11,506,520 円 【学校教育課】

学校内科医（14人）・眼科医（4人）・歯科医（13人）・薬剤師（13人）に対する報酬

- (3) 小学校健康診断等関係経費 1,751,401 円 【学校教育課】

尿検査（全員）、ぎょう虫卵検査（小1～3）、心臓検診（小1）、結核検診（転校生）、耳鼻科健診（小1・4）の検診手数料

5 情報システム管理費

- (1) 小学校教育用パソコン管理経費 736,105 円 【学校教育課】

各小学校に設置したパソコン及びプリンターのメンテナンスにかかる経費

6 小学校介助員等配置事業費

- (1) 小学校介助員等配置事業 66,905,003 円 【学校教育課】

特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数（延） 40人 賃金 66,649,131円、 旅費 255,872円

- (2) 小学校教育活動サポート員配置事業 6,680,383 円 【学校教育課】

学校生活の充実のため、教育環境の整備・学習内容の理解のサポートに支援員を配置した。（緊急雇用創出基金事業）

人数（延） 4人 賃金 6,670,580円、 旅費 9,803円

- (3) 小学校英語教育教諭補助員配置事業 2,031,625 円 【学校教育課】

英語を通じてコミュニケーションを図ろうとする能力や態度の育成を支援するため、小学校に英語教育をサポートする補助員を配置した。（緊急雇用創出基金事業）

人数（延） 2人 賃金 2,031,625円

施策の成果及び執行実績

(4) 小学校学校運営支援員配置事業 17,923,971 円 【学校教育課】

学校において教職員が児童・生徒と向き合う時間を確保し、学校運営全般を円滑に実施するため、学校運営支援員を配置した。（緊急雇用創出基金事業）

人数（延） 13人 賃金 17,875,879円、 旅費 48,092円

【点検及び評価】

小学校への介助員等の配置については、各学校からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する児童に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、各小学校とも、年々支援を要する児童が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童にきめ細かく対応することが求められることから、介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童の対応であるが、間接的には他の児童の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

7 小学校通学対策事業費

(1) 小学校児童送迎事業 541,860 円 【学校教育課】

磯部町坂崎地区の児童が磯部小学校へ通うための送迎を委託

(2) 小学校通学安全対策助成事業 282,790 円 【学校教育課】

自転車通学を許可されている児童がヘルメットを購入した時、購入金額の1/2（上限1,000円）の補助と的矢小学校へ通う渡鹿野・三ヶ所地区の児童の冬期及び雨天時の仕立て船代金

8 小学校教育総務振興費

(1) 小学校備品購入事業 6,025,731 円 【教育総務課】

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	2,926,276円
図書購入費	2,599,455円
鵜方小学校図書購入費（基金分）	500,000円

【点検及び評価】

児童の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業で予算を許すなら、もっと増額したいところである。

施策の成果及び執行実績

9 小学校学事庶務振興費

- (1) 小学校就学援助経費・・・・・・・・・・・・・・・・ 23,160,257 円 【学校教育課】

小学校に在学する児童で経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費(学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ)等に支給を行った。

特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級にいる児童に支給を行った。

【点検及び評価】

経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、憲法、教育基本法に定める教育の機会均等の趣旨に沿った施策であり、成果向上に大きく貢献する施策である。平成17年度より準要保護の国庫補助制度が無くなっているが引き続き市における施策の実施が必要である。昨年度も学識経験者から「是が非でも継続を」と意見をちょうだいしている。

- (2) 小学校教材購入経費・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,936,490 円 【学校教育課】

小学校の授業や教育活動で使用する教材にかかる経費

10 小学校災害補償費

- (1) 小学校災害共済事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,670,843 円 【学校教育課】

日本スポーツ振興センターへの共済掛金(児童全員分)と災害給付金

収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 2,392,908 円

11 小学校耐震化・大規模改造事業費

- (1) 磯部小学校屋内運動場耐震化事業・・・・・・・・ 24,239,700 円 【教育総務課】

耐力性に欠ける構造上危険な屋内運動場(昭和44年建築S造1階建て800㎡)の改築を行い、児童の学校における安全の確保と円滑な教育活動の実施を図るため、改築工事に係る実施設計及び地質調査を実施した。

主な事業費は以下のとおり

屋内運動場改築工事実施設計業務委託料 20,863,500円

受注者：田端・勝田特定建築設計共同企業体

屋内運動場改築工事地質調査業務委託料 3,112,200円

受注者：協和地研株式会社

【点検及び評価】

国の3次補正に伴う学校施設環境整備事業を活用することで、屋内運動場の延命を図ることと併せて、市の財政負担の軽減を図ることができた。今後とも子どもたちの安全、安心を最優先として学校施設整備に努めたい。

施策の成果及び執行実績

(2) 磯部小学校校舎大規模改造事業 ・ ・ ・ ・ ・ 44,002,987 円 【教育総務課】

昭和41年及び43年建築RC造3階建て3,780㎡の老朽化の激しい磯部小学校校舎の大規模改造及び昭和56年建築RC造2階建て400㎡の耐震性に欠ける構造上危険な図書館の解体を行い教育環境を改善するために校舎屋上防水、普通教室改修等の改修及び図書館解体工事を実施した。

主な事業費は以下のとおり

校舎大規模改造工事費	42,974,400円
受注者：畑中建設工業 株式会社	
校舎大規模改造工事施工監理業務委託料	299,250円
受注者向井照雄建築事務所	

【点検及び評価】

老朽化が著しい磯部小学校の大規模改造工事を行った。また、耐震性のない磯部小学校図書館を解体することにより安全面を向上し、再編後も使用する小学校における、児童の安全の確保と円滑な教育活動の実施を図ることができた。

(3) 和具小学校校舎大規模改造事業 ・ ・ ・ ・ ・ 3,192,000 円 【教育総務課】

昭和39年建築、RC造2階建て991㎡の老朽化の激しい和具小学校校舎での教育環境を改善するために大規模改造、耐震補強工事の基本設計を実施した。

主な事業費は以下のとおり

校舎大規模改造工事基本設計業務委託料	3,192,000円
受注者：日新・ナカムラ・瀧鼻共同企業体	

【点検及び評価】

今年度は基本設計のみであったが、再編後も使用する老朽化が著しい小学校の改修について、児童の安全の確保と教育環境の向上を踏まえた概略設計を実施することができた。

(4) 和具小学校屋内運動場耐震化事業 ・ ・ ・ ・ ・ 25,084,950 円 【教育総務課】

昭和45年に建築されたRC造2階建て1145㎡の耐力性に欠ける構造上危険な屋内運動場の改築を行うことにより、児童の学校における安全の確保と円滑な教育活動の実施を図るため、実施設計業務、地質調査業務を実施した。

主な事業費は以下のとおり

屋内運動場改築工事実施設計業務委託料	21,987,000円
受注者：日新・ナカムラ・瀧鼻共同企業体	
屋内運動場改築工事地質調査業務委託料	2,833,950円
受注者：(株)日本水工コンサルタント 三重事務所	

【点検及び評価】

国の3次補正に伴う学校施設環境整備事業を活用することで、屋内運動場の延命を図ることと併せて、市の財政負担の軽減を図ることができた。今後とも子どもたちの安全、安心を最優先として学校施設整備に努めたい。

施策の成果及び執行実績

(5) 神明小学校校舎大規模改造事業 ・ ・ ・ ・ ・ 2,625,000 円 【教育総務課】

昭和53年建築、RC造2階建て2,960㎡の老朽化の激しい神明小学校校舎での教育環境を改善するため、平成23年度に実施した神明小学校校舎大規模改造工事基本設計業務を基に平成24年度に実施設計業務を実施した。平成25年度工事施工予定。

主な事業費は以下のとおり

校舎大規模改造工事实施設計業務委託料 2,625,000円
受注者：建築設計 間34

【点検及び評価】

国の3次補正に伴う学校施設環境整備事業を活用することで、校舎の延命を図ることと併せて、市の財政負担の軽減を図ることができた。今後とも子どもたちの安全、安心を最優先として学校施設整備に努めたい。

(6) 鵜方小学校校舎耐震補強等大規模改造事業 ・ ・ ・ ・ 128,754,578 円 【教育総務課】

昭和47年建築、RC造3階建て2,592㎡の老朽化の激しい鵜方小学校北校舎での教育環境を改善するため、屋上防水、外壁塗装、内装、耐震補強、配管等の改修工事を実施した。（平成23年度からの繰越明許事業）

主な事業費は以下のとおり

校舎大規模改造工事費 127,052,100円
受注者：作田建設株式会社
校舎大規模改造工事施工監理業務委託料 1,627,500円
受注者：向井照雄建築事務所、一級建築士事務所箕浦設計

【点検及び評価】

老朽化が著しい鵜方小学校の大規模改造工事（Ⅰ期工事）を行った。国の補正予算に伴う学校施設環境整備事業を活用することで、校舎等の延命を図ることと併せて、市の財政負担の軽減を図ることができた。平成25年度にⅡ期工事を行い、引き続き学校施設の安全確保に努めたい。

施策の成果及び執行実績

Ⅲ 中学校費

1 中学校総務管理費

- (1) 中学校総務一般経費 1,819,045 円 【教育総務課】

中学校の安心・安全な運営に必要となる経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

学校用地借上料	690,160円
備品修繕料	456,347円
ピアノ調律手数料	254,100円
駐車場借上料	222,000円
聴力計検査手数料	90,248円

2 中学校施設管理費

- (1) 中学校管理運営費 25,107,486 円 【教育総務課】

志摩市内の中学校施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各中学校の修繕）	9,019,996円
校舎保安業務委託料	3,011,196円
浄化槽清掃料	2,422,350円
消防設備保守点検等委託料	2,014,550円
環境整備業務委託料	1,560,571円
浄化槽保守管理委託料	1,229,550円

【点検及び評価】

中学校の施設管理のため、軽微な修繕のための修繕料は中学校に配分し、緊急対応分を保有して修繕を行った。浄化槽・電気設備・消防設備などの点検委託を行い、施設維持を行った。安心・安全な教育環境の維持管理には欠かせない事業である。

3 中学校学事庶務管理費

- (1) 中学校学事庶務一般経費 47,611,863 円 【学校教育課】

中学校の管理運営に係る経常的経費

- (2) 中学校課外活動支援事業 17,037,909 円 【学校教育課】

社会見学や学校水泳、他校との交流・交歓学習等を実施するために要する経費や生徒が各種コンクールや部活動の大会に参加する場合の経費に対して補助金を交付

4 中学校保健費

- (1) 中学校保健一般経費 439,584 円 【学校教育課】

各学校の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）の手数料

施策の成果及び執行実績

- (2) 校医等報酬経費 6,755,920 円 【学校教育課】

学校内科医（12人）・眼科医（4人）・歯科医（10人）・薬剤師（8人）に対する報酬

- (3) 中学校健康診断等関係経費 1,293,640 円 【学校教育課】

尿検査（全員）・心臓検診（中1）・耳鼻科検診（中1）の検診手数料

5 情報システム管理費

- (1) 中学校教育用パソコン管理経費 394,000 円 【学校教育課】

各小学校に設置したパソコン及びプリンターのメンテナンスにかかる経費

6 中学校介助員等配置事業費

- (1) 中学校教育活動サポート員配置事業 1,641,610 円 【学校教育課】

学校生活の充実のため、教育環境の整備・学習内容の理解のサポートに支援員を配置した。（緊急雇用創出基金事業）

人数（延） 1人 賃金 1,639,610円、 旅費 2,000円

- (2) 中学校学校運営支援員配置事業 4,937,479 円 【学校教育課】

学校において教職員が児童・生徒と向き合う時間を確保し、学校運営全般を円滑に実施するため、学校運営支援員を配置した。（緊急雇用創出基金事業）

人数（延） 4人 賃金 4,930,310円、 旅費 7,169円

- (3) 中学校介助員等配置事業 16,999,501 円 【学校教育課】

特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数（延） 10人 賃金 16,866,965円、 旅費 132,536円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各中学校からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、各中学校とも、年々支援を要する生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する生徒にきめ細かく対応することが求められることから、介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする生徒への対応であるが、間接的には他の生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

施策の成果及び執行実績

7 中学校通学対策事業費

- (1) 中学校通学安全対策助成事業 2,178,805 円 【学校教育課】

自転車通学を許可されている生徒がヘルメットを購入した時、購入金額の1/2（上限1,000円）の補助と和具中学校へ通う布施田地区・間崎地区の生徒、越賀中学校へ通う御座地区の生徒の通学定期券代金を全額補助

8 中学校再編事業費

- (1) 中学校再編準備経費 5,596,352 円 【学校教育課】

大王中学校の校歌・校旗等の作成や波切中学校・船越中学校・的矢中学校の閉校事業に対する補助金

9 中学校教育総務振興費

- (1) 中学校備品購入事業 4,470,770 円 【教育総務課】

生徒の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業をおこなった。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	2,740,048円
図書購入費	1,730,722円

【点検及び評価】

生徒の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業で予算を許すなら、もっと増額したいところである。

10 中学校学事庶務振興費

- (1) 中学校就学援助経費 28,055,070 円 【学校教育課】

中学校に在学する生徒で経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費(学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ)等に支給を行った。

特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級にいる生徒に支給を行った。

【点検及び評価】

経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、憲法、教育基本法に定める教育の機会均等の趣旨に沿った施策であり、成果向上に大きく貢献する施策である。平成17年度より準要保護の国庫補助制度が無くなっているが引き続き市における施策の実施が必要である。

- (2) 中学校教材購入経費 4,930,303 円 【学校教育課】

中学校の授業や教育活動で使用する教材にかかる経費

施策の成果及び執行実績

11 中学校災害補償費

- (1) 中学校災害共済事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,593,457 円【学校教育課】

日本スポーツ振興センターへの共済掛金（生徒全員分）と災害給付金

収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 3,174,692 円

12 中学校耐震化・大規模改造事業費

- (1) 波切中学校大規模改造事業・・・・・・・・・・・・ 117,052,634 円【教育総務課】

昭和40、41年建築、RC造2階建て2,614㎡の老朽化の激しい波切中学校校舎の教育環境を改善するため及び昭和54年建築、S造1階建6㎡の老朽化の激しい職員女子トイレ棟の整備をするために、平成23年度に実施した波切中学校校舎大規模改造工事実施設計業務を基に工事施工した。（平成23年度からの繰越明許事業）

主な事業費は以下のとおり

校舎大規模改造工事費 115,069,500円

受注者：(株)山下組

校舎大規模改造工事施工監理業務委託料 493,500円

受注者：林州啓建築設計事務所

【点検及び評価】

老朽化が著しい波切中学校校舎大規模改造工事を行った。国の補正予算に伴う学校施設環境整備事業を活用することで、校舎等の延命を図ることと併せて、市の財政負担の軽減を図ることができた。

- (2) 東海中学校グラウンド等防災機能向上事業・・・・・・・・ 4,813,200 円【教育総務課】

グラウンド構造物に関し、防災機能を高めるための補強を行うことにより、生徒の学校における安全の確保と円滑な教育活動を図ることが可能になる。そのための構造物補強工事の実施設計業務を実施した。平成25年度工事施工予定。

主な事業費は以下のとおり

グラウンド構造物等防災機能

補強工事実施設計業務委託料 4,813,200円

受注者：協和地研株式会社 (財)三重県建設技術センター

【点検及び評価】

今年度は実施設計のみであったが、再編後も使用する中学校の事業について、グラウンド構造物の補強を行うための具体的な設計ができた。

施策の成果及び執行実績

(3) 磯部中学校校舎等大規模改造事業 ・ ・ ・ ・ ・ 34,126,878 円 【教育総務課】

雨漏りのするRC造3階建て4,323㎡の校舎及びRC造2階建て1,424㎡の屋内運動場での教育環境を改善するため、屋上防水、外壁改修等の改修工事を実施した。

主な事業費は以下のとおり

校舎等大規模改造工事費 33,136,950円

受注者：有限会社 出馬重機

校舎等改修工事実施設計業務委託料 269,850円

受注者：建築設計 間34

【点検及び評価】

雨漏りのする校舎及び屋内運動場の改修工事を行うことにより、地域の避難所に指定されている防災施設の環境改善を図ることができた。また、再編が進んだ後も磯部地区の中学校として使用する学校であることから、安全で安心な教育環境整備にもつながった。

(4) 文岡中学校屋内運動場耐震補強等大規模改造事業 ・ ・ ・ 179,342,213 円 【教育総務課】

昭和56年に建設されたRC造（一部S造）2階建て1311㎡の屋内運動場（旧社会体育館）は、耐震性が乏しく老朽化が激しいため、施設の安全性の向上及び教育環境を改善するために耐震補強、外壁改修、内装改修、屋上防水、建具取替等の改修工事を実施した。（平成23年度からの繰越明許事業）

主な事業費は以下のとおり

屋内運動場耐震化工事費 177,264,150円

受注者：畑中建設工業（株）

屋内運動場耐震化工事施工監理業務委託料 1,585,500円

受注者：阪本建築設計事務所

【点検及び評価】

地域活性化交付金を活用することで、校舎の延命と共に市の財政負担の軽減を図ることができた。

施策の成果及び執行実績

IV 幼稚園費

1 幼稚園総務管理費

- (1) 幼稚園総務一般経費 566,465 円 【教育総務課】

幼稚園の安心・安全な運営に必要となる経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

駐車場借上料	360,000円
ピアノ調律手数料	147,950円
聴力計検査手数料	25,515円

2 幼稚園施設管理費

- (1) 幼稚園管理運営費 4,800,773 円 【教育総務課】

志摩市内の幼稚園施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各幼稚園の修繕）	2,100,846円
浄化槽保守管理委託料	711,900円
浄化槽清掃料	532,035円
園舎保安業務委託料	434,700円
消防設備保守点検等委託料	233,550円
環境整備業務委託料	118,326円

【点検及び評価】

幼稚園の施設管理のため、軽微な修繕のための修繕料は幼稚園に配分し、緊急対応分を保有して修繕を行った。浄化槽・電気設備・消防設備などの点検委託を行い、施設維持を行った。安心・安全な教育環境の維持管理には欠かせない事業である。

3 幼稚園教育総務振興費

- (1) 幼稚園備品購入事業 476,217 円 【教育総務課】

園児の保育活動を充実させるため保育備品やその他図書等を購入し、健全で有効な幼稚園運営を図るための事業をおこなった。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	145,687円
図書購入費	330,530円

【点検及び評価】

園児の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な幼稚園の運営を図るための事業で予算を許すなら、もっと増額したいところである。

施策の成果及び執行実績

4 幼稚園学事庶務管理費

- (1) 幼稚園学事庶務一般経費 12,327,966 円 【学校教育課】

幼稚園の管理運営に係る経常的経費

収入の状況

幼稚園保育料	21,658,100 円
幼稚園預かり保育料	11,757,075 円
幼稚園就園奨励費補助金	248,000 円

- (2) 臨時教諭等賃金 12,529,295 円 【学校教育課】

幼稚園教諭補助6名、預かり保育補助員2名を配置し、正規職員の補助を行った。

5 幼稚園保健費

- (1) 幼稚園保健一般経費 143,649 円 【学校教育課】

各園の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）の手数料

- (2) 園医等報酬経費 3,072,640 円 【学校教育課】

学校内科医（8人）・眼科医（4人）・歯科医（7人）・薬剤師（8人）に対する報酬

- (3) 幼稚園健康診断等関係経費 172,610 円 【学校教育課】

尿検査、ぎょう虫卵検査の手数料

6 幼稚園介助員等配置事業費

- (1) 幼稚園介助員等配置事業 22,794,539 円 【学校教育課】

特別支援を要する幼児を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数（延） 13人 賃金 22,788,605円、 旅費 5,934円

- (2) 幼稚園教育活動サポート員配置事業 16,666,740 円 【学校教育課】

教育環境を整え、園児の安全確保に努め全体指導の中でいき届きにくい部分について教育的な支援と活動を行った。（緊急雇用創出基金事業）

人数（延） 10人 賃金 16,663,340円、 旅費 3,400円

施策の成果及び執行実績

(3) 幼保一体化施設支援員配置事業 3,669,555 円 【学校教育課】

平成24年度から幼保一体化施設（浜島幼稚園・志摩幼稚園）が開園したことにより施設運営の補助を行った。（緊急雇用創出基金事業）

人数（延） 2人 、 賃金 3,669,555円

【点検及び評価】

幼稚園への介助員等の配置については、園からの要望を受け検討し、支援を要する児童に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、各幼稚園とも、年々支援を要する児童が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童への対応であるが、間接的には他の児童の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

7 幼稚園災害補償費

(1) 幼稚園災害共済事業 212,070 円 【学校教育課】

日本スポーツ振興センターへの共済掛金（園児全員分）と災害給付金

収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 87,580 円

施策の成果及び執行実績

V 社会教育費

1. 社会教育総務費

(1) 社会教育事業費

①社会教育一般経費 480,113 円 【生涯学習人権教育課】
社会教育の振興・発展にかかる一般事務経費

②社会教育委員経費 58,600 円 【生涯学習人権教育課】
社会教育法第15条第1項の規定に基づいて社会教育委員を設置し、会議を2回開催した。
社会教育委員：9人 任期：2年
社会教育委員報酬 55,000 円

③社会教育関係補助金 555,000 円 【生涯学習人権教育課】
○社会教育団体等の育成支援

補助団体	補助金額（円）
志摩市女性の会連合会	555,000

④成人式開催事業 735,220 円 【生涯学習人権教育課】
20歳になった青年の前途を市民全員で祝福するとともに、新成人が豊かな感性や創造性を持ち、まちづくりの重要な担い手として、さらには、将来の社会を支える一員として自らも自立し、そのための責任を自覚する機会を提供する場として、成人式を開催した。
○平成25年志摩市成人式
・平成25年1月13日 志摩スペイン村 パルケエスパーニャ（式典会場：コロシウム）
・出席者：新成人496人（男269人、女227人）
報償費 414,400 円（成人式典記念写真）
使用料及び賃借料 250,000 円（式典会場借上料）

【点検及び評価】

成人式については、20歳という節目を迎えた青年に、これからの生きがいや人生設計を考え、また地域の同世代とのふれあいのなかで団結を高めてもらうこと及び「ふるさと志摩」を愛する心を育むことを目的に式典を開催したことにより、青年層の意識の高揚と活動の活性化に向けてのひとつの節目になる大切な事業と考える。

今回は、新成人を中心とした成人式実行委員会が組織され、そこからの提案を受け、初めて「志摩スペイン村」を会場に開催した。また、新成人が司会を行い、新成人自らによる成人式として心に残るものとなったと考える。

施策の成果及び執行実績

(2) 青少年育成事業費

① 青少年補導センター事業 528,881 円 【生涯学習人権教育課】
 青少年の健全な育成保護を図るため補導員を委嘱し、問題青少年及び青少年非行集団の早期発見や情報交換を行い、青少年の非行防止に必要な業務を行った。

青少年補導員報酬 481,000 円

○ 青少年補導センター補導員：40人 任期：2年

○ 街頭補導、合同補導の実施（通年）

	実施回数（回）	従事した補導員数（人）
街頭補導	94	113
合同補導	3	18

○ 情報・意見交換等のための全体会議を2回開催した。

② 青少年育成事業 1,198,400 円 【生涯学習人権教育課】
 青少年問題の重要性を深く認識し、関係機関及び団体との緊密な連携を図り、広く市民から理解と協力を得て次代を担う青少年の健全育成活動を推進することを目的に、事業の実施を地域の団体に委託した。

契約名	契約相手方	契約金額（円）
青少年育成事業	志摩市青少年育成市民会議	1,198,400

③ 青少年育成関係補助金 1,558,299 円 【生涯学習人権教育課】

○ 協働事業提案制度採択事業負担金

「志摩市まちづくり基本条例」に規定する『協働によるまちづくり』を推進するための「協働事業提案制度」で採択された事業を実施することを目的に補助を行った。

補助団体	補助金額（円）
しま子育て応援団	400,000

○ 青少年育成団体の育成支援

補助団体	補助金額（円）
志摩市連合青年団	500,000
志摩市青少年育成市民会議	603,299
志摩市PTA連合会	55,000

【点検及び評価】

青少年補導センター事業は、地域における青少年の健全な育成と、非行化の未然防止並びに早期発見・早期補導活動のための重要な事業であり、全体会議による意見交換や合同補導活動等による非行防止などの取り組みにより、現在のところ、大きな非行や問題行動が発生していない。今後も、地域の青少年は地域で見守る活動を大切にしていきたい。

施策の成果及び執行実績

(3) しまこどもセンター事業費

①しまこどもセンター事業 285,638 円 【生涯学習人権教育課】

○しまこどもセンター活動推進協議会の開催

地域の教育力を活性化し、子どもたちに奉仕活動や体験活動の場や機会を提供するため、各地域の活動者や有識者を委員として委嘱し、会議を2回開催した。

しまこどもセンター活動推進協議会委員：22人

委員報償費 40,000 円

○しまこどもセンター事業の実施

学校・関係機関・各種団体が連携・協力を行い、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を確保するとともに、様々な体験活動や地域住民との多彩な交流活動を実施した。

報償費 138,000 円（講師謝礼）

・本部事業

平成24年8月29日 ジュニアリーダー研修（ともやま公園） 対象者19人参加

平成24年8月5日 「エコ風鈴を作ろう!!」（阿児アリーナ） 40人参加

・大王地区事業（サンサンキッズ大王）

書道教室を3回開催 延べ52人参加

・志摩地区事業（志摩たちごクラブ）

書道教室を11回開催 延べ227人参加

平成24年12月9日 しめなわ作り教室 24人参加

・阿児地区事業（ドキ・ワク阿ミ～児）

平成24年12月1日 いも煮会（障がい者支援施設「はばたき」） 71人参加

【点検及び評価】

地域の教育力向上を図るため、地域・家庭・学校・各種団体が連携・協力し、様々な体験活動や地域住民との多彩な交流活動を実施した。子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を確保するとともに、青少年の健全育成の一助になったと考える。また、情報交換の観点からも有効であった。

施策の成果及び執行実績

2. 文化振興事業費

(1) 文化財保存事業費

① 文化財保存一般経費 1,547,511 円 【生涯学習人権教育課】

○文化財の保存、保護、顕彰に関する一般経費

文化財愛護思想の啓発を図り、地域の文化財の保護顕彰に努め、各種調査や研究活動を推進し、有効活用を図りながら、志摩市の文化及び歴史の保存と郷土の伝統芸能の継承に努めた。

・文化財調査委員会

志摩市文化財保護条例第3条の規定に基づき文化財調査委員会を設置し、会議を3回、研修会を1回開催した。

文化財調査委員会委員：12人 任期：2年

文化財調査委員会委員報酬 82,500円

・志摩文化財調査保護委員協議会

鳥羽市、南伊勢町、志摩市の文化財調査委員で構成する協議会である。「志摩文化財年報」を発刊し、鳥羽志摩地域の文化財に関する情報交換や研修等を行った。今年度は、過去年報（第1～10集）もA4サイズで合本した。

志摩文化財調査保護委員協議会負担金 55,000円

・指定文化財・埋蔵文化財の保護

・登録有形文化財（建造物） 平成25年3月29日告示

（大王埼灯台・大王埼灯台門柱及び塀、安乗埼灯台 以上3件）

・埋蔵文化財包蔵地確認業務 508件

・埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の発掘届出書及び通知書提出における文化財調査等

発掘調査 0件、範囲確認調査 4件、工事立会 9件

・文化財保護の周知活動

広報しま11月号及び志摩市ホームページに「開発予定地の埋蔵文化財包蔵地の確認・調査はお済みですか？」を掲載し、埋蔵文化財の保護に対する理解を図った。

・郡上市交流支援事業に関すること

郡上市の「高雄歌舞伎保存会」と志摩市の「安乗人形芝居保存会」との伝統文化交流の支援を行った。

9月15・16日：高雄歌舞伎保存会20人が来訪し、安乗の人形芝居を見学した。

11月 4・5日：郡上市にて高雄歌舞伎を見学し、保存会員同士の交流を図った。

郡上市交流支援事業（伝統文化交流事業）にかかる支出 235,350円

【点検及び評価】

埋蔵文化財の保護・啓発については、引き続き広報「しま」を活用した情報発信を行い、保護啓発に努めた。文化財保護の意識を高めるためには、関係機関と連携を深めつつ、啓発を行う必要がある。

伝統文化交流については、「安乗の人形芝居」と「高雄歌舞伎」の交流支援を行った。平成25年度には郡上市にて人形芝居の上演を行うため、保存会同士が交流を深める機会を持つことができたことは、次に繋げるステップになったと考える。

登録有形文化財（建造物）については、市内に地域の資産として残っている建造物の保存・活用が図られる一つの方法として、今後も登録の申請に努めることが大切と考える。

施策の成果及び執行実績

- ② 文化財保存関係補助金 1,045,000 円 【生涯学習人権教育課】

○文化財の保存・伝承に対する助成

事業名	補助団体	補助金額(円)
わらじ祭り保存事業	大王自治会	400,000
大般若経保存事業(片田)	片田自治会	30,000
大般若経保存事業(立神)	立神自治会	30,000
安乗人形保存伝承奨励事業	安乗人形芝居保存会	200,000

○郷土の伝統芸能の保存・継承と後継者育成への支援

事業名	補助団体	補助金額(円)
安乗中学校文楽クラブ太夫・三味線養成事業	安乗中学校	360,000

○郷土の文化財活用への支援

事業名	補助団体	補助金額(円)
文化財活用事業	志島自治会	25,000

【点検及び評価】

文化財保存団体への助成については、保存・伝承に有効活用されている。
 郷土の伝統芸能の継承と後継者育成への支援については、安乗人形芝居保存会が小中学生を対象にした伝統文化の体験教室は継続して行っている。児童や生徒に直に人形体験できる機会を作れたことは良かったと考える。
 また、おじよか古墳の出土遺物を利用して小学生に体験教室を、地元住民向けに講演会を行った。今後も市民やこども達に対して、市内にある伝統文化や埋蔵文化財等を周知し、郷土の良さを知ってもらう機会を作っていく。

- ③ 埋蔵文化財範囲確認調査事業 524,551 円 【生涯学習人権教育課】

○埋蔵文化財包蔵地への開発行為等の申請に伴う範囲確認調査(試掘)を行う。

契約名	契約相手方	契約金額(円)
松本遺跡(長沢多目的広場)埋蔵文化財発掘調査業務	丸文工業(株)	472,500
旧神明小学校遺跡埋蔵文化財発掘調査業務	(公)シルバー人材センター	3,908

【点検及び評価】

広域消防組合の建設予定地、神明小学校横の市道が、周知の埋蔵文化財包蔵地のため範囲確認調査を行った。結果は遺物等は見当たらなかったが、今後も埋蔵文化財の保護のため、範囲確認調査を実施する必要があると考える。

施策の成果及び執行実績

④ 民俗芸能伝承事業 222,187 円 【生涯学習人権教育課】

○磯部の御神田に関すること

- ・国指定重要無形民俗文化財「磯部の御神田」の保存・伝承を図ることを目的に、所作を指導する師匠や師匠補佐等に謝金を支出する。また、当日の来場者へのアナウンス（説明）や竹取神事の参加者への傷害保険も加入している。

・師匠謝金	100,000円	・アナウンス謝金	20,000円
・師匠補佐謝金	30,000円	・傷害保険費用	16,720円

- ・御神田周辺整備事業で作られた体験田の管理を地元の方に委託し、幼稚園等将来を担うこどもたちの体験学習に活用してもらうとともに、「御田植え祭」が行われる郷土の良さを認識し、次世代への伝承も図る。

御神田体験田管理委託料 30,000円

【点検及び評価】

国指定重要無形民俗文化財である「磯部の御神田」の保存・伝承を図ることを目的としており、今後も継続してその支援に努めていく必要があると考える。

⑤ 遺跡発掘調査等事業 5,263,490 円 【生涯学習人権教育課】

○おじよか古墳出土遺物保存処理事業

昭和42年に旧阿見町が発掘した三重県指定史跡「おじよか古墳」の出土遺物は、鉄製品の劣化が著しく、展示はもとより将来の保存・活用も危機的な状況にあったため、平成22年度から3か年計画で保存処理の実施を計画した。平成24年度は26点を選び保存処理し、歴史民俗資料館にて展示公開、保管管理している。

契約名	契約相手方	契約金額（円）
出土遺物保存処理業務	(財)元興寺文化財研究所	3,345,720

○志島古墳群第4号墳（塚穴古墳）の保存事業

現在墳丘の西側が海蝕により失われつつある状態のため、墳丘が失われ、石室が崩落する前に記録保存を行うことが必要と判断し、国庫補助を受け進めた。

契約名	契約相手方	契約金額（円）
志島古墳群第4号墳草刈り業務	和美屋 西村志津子	273,000
志島古墳群第4号墳測量調査業務	(株)大和総合企画	532,350
志島古墳群第4号墳埋蔵文化財発掘調査業務	(株)坂下工務店	879,900

施策の成果及び執行実績

○松本遺跡埋蔵文化財発掘調査業務

新たに建設が予定されている給食センターの建設に先立ち、埋蔵文化財の所在、範囲及び性格を明らかにするため試掘調査を行った。

契約名	契約相手方	契約金額（円）
松本遺跡埋蔵文化財発掘調査業務	作田建設（有）	136,500

【点検及び評価】

おじよか古墳出土遺物の保存処理については、国庫補助事業として3年間にわたり実施し、平成24年度で終了した。遺物の中で特に劣化の激しいものを中心に保存処理を進めたが、他にも未処理のものが多数あるので、今後、保存処理をおこなうかどうか検討の必要があると考える。

また、志島古墳群第4号墳（塚穴古墳）の保存事業については、石室が崩落する前に記録保存が必要なため、国庫補助を受け3年間の計画で進めている。平成24年度は墳丘の外周の調査を行い、今後、石室内の発掘調査へ進めていく計画である。

⑥ 埋蔵文化財等整理事業 638,270 円 【生涯学習人権教育課】

市内の遺跡で発見された遺物の整理（遺物洗浄、遺物ラベルの作成、注記、分類、実測、収納作業など）と歴史資料、民俗資料の整理（ラベルの作成、写真撮影、大きさの計測など）、及び台帳整理などを行うことにより、保存・活用への基盤整備を図る。

事業期間は平成25年2月～平成26年1月末まで。（緊急雇用創出追加事業）

【点検及び評価】

緊急雇用創出事業の追加事業のため平成25年2月からの実施であるが、これまで倉庫に保管されているだけであった遺物等の整理（洗浄、遺物ラベルの作成等）や台帳作成を進めている。（終了は平成26年1月末）

これにより、歴史民俗資料館等への効率的な展示が可能となり、また、児童や生徒への体験教室にも対応できるようになった。

施策の成果及び執行実績

(2) 文化振興事業費

① 文化振興関係補助金・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,555,000 円 【生涯学習人権教育課】

○文化振興事業

優れた芸術・文化を鑑賞する機会を提供し、普段接することのできない高いレベルの芸術・文化にふれることにより、文化意識や意欲の向上と豊かな情操、郷土愛の心を育む。また、市民自らが参加する芸術文化活動の振興を支援する。

・文化振興団体の育成

事業名	補助団体	補助金額(円)
文化振興関係補助金	志摩市文化協会	1,555,000

※平成20年7月13日、それまでの志摩市文化協会連絡協議会から志摩市文化協会として設立した。設立後は、地域文化の創造と振興を目標とし活動しているが、現在は各支部の活動に重点をおきながら事業を進めている。

文化協会全体の平成24年度活動については、各種運営委員会と役員会の開催。志摩市において郡上市文化協会との交流事業を実施した。

【点検及び評価】

志摩市文化協会に補助金を交付し、市民自らが参加する芸術文化活動の振興を支援するとともに、地域文化の創造と振興を図ることができた。

また、文化振興事業については、宝くじ事業の採択を受け、吉田兄弟による三味線コンサートや自衛隊音楽隊によるコンサート、その他管弦楽団等、普段接することのできないすぐれた芸術作品を鑑賞する機会を提供することで、文化に対する意識や意欲の向上と豊かな情操・郷土愛を育むことができると考えられるため、今後も引き続き市内外の文化団体と連携をしながら事業を計画立案し、その開催に努めていく必要があると考える。

施策の成果及び執行実績

3. 志摩文化会館施設費

(1) 志摩文化会館施設費

① 志摩文化会館管理運営費 13,684,375 円 【生涯学習人権教育課】

・利用状況 (単位：件、人)

月	件数	市外	営利	減免	利用者数	月	件数	市外	営利	減免	利用者数
4	49	4	5	19	759	10	77	7	8	31	5,558
5	51	4	6	20	1,224	11	75	5	5	29	4,339
6	49	6	7	18	1,238	12	47	4	4	16	1,107
7	50	4	3	15	665	1	49	4	3	17	2,990
8	40	3	2	13	848	2	55	4	3	25	1,426
9	60	9	5	18	914	3	66	7	4	31	1,499
						計	668	61	55	252	22,567

・志摩文化会館使用料 (単位：円)

月	使用料	減免金額	月	使用料	減免金額
4	74,450	34,650	10	528,395	91,350
5	104,050	88,450	11	146,700	198,750
6	162,900	62,250	12	74,680	50,700
7	59,660	44,100	1	61,235	189,500
8	85,440	63,000	2	54,350	116,000
9	132,190	64,600	3	83,500	101,550
			計	1,567,550	1,104,900

○施設修繕の状況

・需用費（主な施設修繕料）

2階室外機設置の床面防水塗装・屋外機械室防水塗装工事	250,000 円
支所事務室・調理室・分室・図書室空調機修理	447,300 円
外灯灯具取替	256,200 円
浄化槽接触酸化ブロワー・生物ろ過ブロワー取替	420,000 円
2階防火シャッター修繕・消火器ボックス交換	292,950 円

・需用費（備品修繕料）

椅子溶接 6脚・肘掛修理	9,030 円
パソコン室 ウイルス駆除ソフト復旧	17,168 円

・光熱水費 (単位：円)

項目／年度	前年度	当年度
電 気	3,627,015	3,696,213
水 道	138,071	133,472
ガ ス	929,560	1,055,443
合 計	4,694,646	4,885,128

【点検及び評価】

地域の教育や文化の発展及び向上を図るため、地域住民の生涯学習を中心とした活動拠点として努めた。また、23年度10月からは施設内に志摩支所が併設され、様々な住民サービスに努めている。志摩分室と図書室が同じ部屋にあるため、図書室の貸出・返却等の手伝いを行いながら、志摩文化会館への来客者に不快な思いをさせないように努めている。

施策の成果及び執行実績

② 自主文化事業 680,308 円 【生涯学習人権教育課】

○志摩文化会館自主文化事業として、宝くじ文化公演を開催した。

・宝くじ文化公演 吉田兄弟 三味線だけの世界

開催日：12月16日 場所：志摩文化会館 大ホール 参加者：562人

収入内訳	入場料収入	1,120,000 円
支出内訳	需用費	79,008 円
	委託料	48,300 円
	負担金	553,000 円

【点検及び評価】

地域の教育や文化の発展及び向上を図るため、自主事業として吉田兄弟のコンサートを開催し、当日は大ホールが満席となり、志摩町内の住民だけでなく志摩市全体の住民も多く来場し、大変好評な事業であったと考えている。

4. 阿児アリーナ施設費

(1) 阿児アリーナ施設費

① 阿児アリーナ管理運営費 24,078,878 円 【生涯学習人権教育課】

・利用状況

(単位：件、人)

月	件数	市外	営利	減免	利用者数	月	件数	市外	営利	減免	利用者数
4	121	8	11	38	4,793	10	133	7	6	52	14,361
5	141	12	9	42	6,557	11	138	8	4	50	10,020
6	177	12	9	70	6,118	12	134	11	7	47	8,867
7	164	9	11	68	6,901	1	150	11	7	58	3,655
8	164	17	7	73	6,561	2	166	8	6	61	5,159
9	156	15	5	62	4,442	3	173	11	5	61	5,992
						計	1,817	129	87	682	83,426

・阿児アリーナ使用料

(単位：円)

月	使用料	減免金額	月	使用料	減免金額
4	540,775	216,500	10	339,665	525,980
5	462,100	214,250	11	385,585	702,820
6	592,120	149,900	12	515,210	210,200
7	293,365	354,400	1	411,950	138,550
8	664,070	355,250	2	416,190	230,950
9	722,700	302,500	3	662,580	175,430
			計	6,006,310	3,576,730

・光熱水費

(単位：円)

項目／年度	前年度	当年度
電気	4,617,049	4,504,474
水道	554,490	571,217
下水道	386,638	419,943
ガス	96,280	96,760
合計	5,654,457	5,592,394

施策の成果及び執行実績

○阿児アリーナ自主文化事業 78,668 円

阿児アリーナ自主文化事業として、以下の3つの事業を開催した。

支出内訳	需用費	39,668 円
	役務費	39,000 円

- ・伊勢管弦楽団 阿児アリーナ演奏会ミニ
開催日：4月8日 場所：阿児アリーナ ベイホール 参加者：150人
- ・三重県立白子高等学校吹奏楽部コンサート
開催日：10月8日 場所：阿児アリーナ ベイホール 参加者：489人
- ・陸上自衛隊10音楽隊 《ふれあいコンサートin志摩》
開催日：2月2日 場所：阿児アリーナ ベイホール 参加者：510人

【点検及び評価】

市の中核的な生涯学習施設として、地域の教育や文化の発展及び向上を図るため、多様な市民のニーズに対応した様々な事業を行った。また、省エネ対策として館内の節電の実施、節水の励行、空調温度の管理徹底を行った。

○志摩市教育施設消火器購入

耐用年数の経過した各社会教育施設等の消火器を一括契約にて更新した。

一括契約額 393,204 円 (数量により各施設の予算から支出)

・内訳

施設名	本数	施設名	本数
志摩文化会館	22 本	浜島生涯学習センター	6 本
鵜方公民館	5 本	迫塩民俗資料収蔵庫・迫塩社会体育館	10 本
阿児陶芸館	2 本	長沢野球場	4 本
阿児アリーナ	37 本	磯部生涯学習センター	20 本
市立図書館	9 本	合計	115 本

○志摩市教育施設屋内消火栓ホース購入

耐用年数の経過した阿児アリーナ及び市立図書館の屋内消火栓ホースを更新した。

一括契約額 200,058 円 (数量により各施設の予算から支出)

・内訳

阿児アリーナ	26 本	市立図書館	12 本	合計	38 本
--------	------	-------	------	----	------

施策の成果及び執行実績

5. 磯部生涯学習センター施設費

(1) 磯部生涯学習センター施設費

① 磯部生涯学習センター管理運営費 ・ ・ ・ ・ ・ 21,447,627 円 【生涯学習人権教育課】

・利用状況 (単位：件、人)

月	件数	市外	営利	減免	利用者数	月	件数	市外	営利	減免	利用者数
4	59	6	0	17	772	10	106	8	0	66	2,926
5	81	9	0	39	1,026	11	102	8	0	66	4,580
6	86	5	0	45	1,929	12	100	7	0	45	2,347
7	90	6	0	41	2,858	1	103	9	0	57	1,667
8	84	6	0	46	1,697	2	104	9	0	55	3,149
9	83	7	0	40	1,298	3	83	6	0	27	1,379
						計	1,081	86	0	544	25,628

・磯部生涯学習センター使用料 (単位：円)

月	使用料	減免金額	月	使用料	減免金額
4	45,560	33,840	10	99,420	114,300
5	40,100	55,600	11	49,460	191,900
6	46,700	78,800	12	203,000	90,300
7	137,780	62,700	1	92,740	109,300
8	78,620	69,500	2	128,600	67,200
9	70,460	48,000	3	63,620	54,200
			計	1,056,060	975,640

・光熱水費 (単位：円)

項目／年度	前年度	当年度
電気	—	7,101,101
水道	—	82,988
ガス	—	22,559
合計	—	7,206,648

※ 前年度は磯部支所費にて支払いのため該当なし。

【点検及び評価】

地域の教育や文化の発展及び向上を図るため、地域住民の生涯学習を中心とした活動拠点として努めた。また、施設の有効活用をはかるため施設内に志摩市歴史民俗資料館・図書館が併設され、多数の来館者が訪れた。

施策の成果及び執行実績

6. 公民館費

(1) 公民館費

①公民館管理運営費 17,863,904 円 【生涯学習人権教育課】

○施設利用状況

		使用件数 (件)	使用人数 (人)
公民館	浜島公民館	723	9,927
	大王公民館	757	18,847
	鵜方公民館	1,197	15,538
陶芸館	浜島陶芸館	78	800
	阿児陶芸館	138	1,184

○収入の状況

	施設名	金額 (円)
公民館使用料	浜島公民館	197,200
	大王公民館	465,350
	鵜方公民館	669,800
	計	1,332,350
陶芸館使用料	浜島陶芸館	38,300
	阿児陶芸館	147,995
	計	186,295

○公民館、陶芸館の管理運営

- ・施設修繕料 1,142,400 円
 - 浜島公民館 水中ブロー槽内配管改修費 286,230 円
 - 大王公民館 高圧電気引込開閉器取替工事 298,200 円
 - 大王公民館 ガスヒートポンプ室内リモコン取付工事 220,500 円 他
- ・備品修繕料 181,057 円
 - 浜島公民館 放流槽用ポンプ取替 84,000 円 他

施策の成果及び執行実績

・委託料 1,502,550 円

契約名	契約相手方	契約金額 (円)
浄化槽保守管理委託料 (浜島・大王・鵜方公民館・浜島陶芸館)	志摩環境事業協業組合	310,800
電気工作物保安管理委託料 (浜島・大王公民館)	(財) 中部電気保安協会	219,240
火災報知設備等保守管理委託料 (浜島・鵜方公民館)	I S (株)	120,750
火災報知設備等保守管理委託料 (大王公民館・阿児陶芸館)	日本ファシリオ (株) 志摩営業所	56,700
防火対象物定期点検委託料 (浜島・鵜方公民館)	I S (株)	77,700
防火対象物定期点検委託料 (大王公民館)	日本ファシリオ (株) 志摩営業所	42,000
施設警備保障システム委託料 (浜島公民館)	イセツト (株)	189,000
セキュリティ用ソフト更新業務委託料 (浜島公民館)	(株) 松阪電子計算センター	7,560
環境整備業務委託料 (浜島公民館)	川利建設	163,800
デマンド監視業務委託料 (大王公民館)	(財) 中部電気保安協会	44,100
ガスヒートポンプエアコン保守点検業務委託料 (大王公民館)	(株) 波切ヤンマー商会	73,500
おもいやり駐車場整備委託料 (浜島公民館)	川利建設	24,150
おもいやり駐車場整備委託料 (大王公民館)	天白組	54,600
おもいやり駐車場整備委託料 (浜島・大王公民館)	中部産業株式会社 志摩営業所	118,650

・臨時職員賃金 8,282,775 円

施設名	金額 (円)
浜島公民館	1,735,020
大王公民館	3,202,300
鵜方公民館	3,345,455

施策の成果及び執行実績

②公民館講座開催事業 3,189,000 円【生涯学習人権教育課】
市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として公民館講座（生涯学習講座）を開催した。

報償費 3,189,000 円（全地区公民館講座講師謝礼）

○各地区の講座実施状況

・一般講座

地区名	講座数	受講登録者数（人）	延べ参加者数（人）	報償費（円）
浜島地区	13	134	1,153	665,000
大王地区	12	199	1,639	600,000
志摩地区	11	233	1,656	525,000
阿児地区	16	202	2,793	770,000
磯部地区	12	192	1,583	559,000
計	64	960	8,824	3,119,000

・高齢者学級

地区名	講座名	開催回数（回）	延べ参加者数（人）	報償費（円）
浜島地区	つるかめ大学	8	415	40,000
志摩地区	はまゆう大学	9	337	30,000
磯部地区	くすのき講座	3	276	0
計		20	1,028	70,000

○収入の状況

公民館講座受講料（1人1講座につき1,000円）

地区名	受講料（円）
浜島地区	134,000
大王地区	199,000
志摩地区	233,000
阿児地区	202,000
磯部地区	192,000
計	960,000

【点検及び評価】

公民館における生涯学習講座及び貸館業務等については、市職員が直接的あるいは間接的に関わることにより、より適正かつ効率的な運営に向けての取り組みが図られている。また、平成22年度より市内17箇所の地区公民館がコミュニティセンターに移行し、公民館長・公民館主事等が廃止されたが、それらの館における生涯学習講座は、各講座の講師及び受講者の自主的な運営に支えられて継続されている。

なお、公民館等の各施設で行われている生涯学習講座の講座内容については、各地区特色のある講座を提供し、受講者から好評を得ているが、今後も、より多くの世代・性別の方に参加してもらえる魅力ある講座を企画し、受益者負担を原則に講座運営を行っていく必要がある。

施策の成果及び執行実績

7. 図書館・資料館費

(1) 図書館費

① 図書館管理運営費 29,459,706 円 【生涯学習人権教育課】

図書資料の収集・整理・保存・貸出を行い、利用者サービスの充実を図った。また、来館者が快適・安全に利用できるよう、設備の保守点検を行うとともに、親しまれる図書館づくりにむけて各種事業を行った。なお、市立図書館（阿児ライブラリー）では、情報提供の場として、コンピューター研修室の開放も継続して行った。

○ 自主事業

（市立図書館）

- ・ おはなし会
毎月第1土曜日開催。ボランティアグループ「とっぴんぱらりのふう」による絵本の読み聞かせやパネルシアター・エプロンシアターなどを行った。（夏休み期間中は盆を除き毎週土曜日開催。）
毎月第3月曜日開催。ボランティアグループ「こつぶっち」による赤ちゃん向けお話会を行った。
- ・ 子ども読書週間スタンプラリー
4月23日～5月12日（当初予定。最終的に6月3日まで延長）開催。子ども読書週間にあわせて実施。図書館の本を読んで感想を書いてもらい、5冊読むと参加賞を渡した。幼児～中学生延べ26人参加。
- ・ 図書・雑誌リサイクルフェア
4月27日～4月29日開催。保存期間の過ぎた雑誌や廃棄図書などを、図書館来館者にリサイクル。幼児～大人まで多数が来館。延べ149人に計1,002冊を無償譲渡。
- ・ 夜の紙芝居
6月16日開催。紙芝居作家 宮地直樹さんによる、大人向けの紙芝居公演。創作紙芝居4篇の公演を行った。170人参加。
- ・ 七夕です。短冊にお願いしたい事を書こう！
6月16日～7月7日開催。来館者に願い事を短冊に書いてもらい、館内に設置した笹にかざった。
- ・ 第14回図書館を使った“調べる”学習賞コンクール入賞作品（複製）展示
6月29日～7月16日開催。図書館の学校・日本児童教育振興財団主催のコンクール。全国の学校・公共図書館から募集した作品で、入選作品の複製を展示した。
- ・ 「東北を知ろう 東北へ行こう！2」展示
7月14日～9月17日開催。東北に関する図書やパンフレット等を展示した。三重県立図書館連携協力。
- ・ 巨大絵本の世界へ
7月19日～9月2日開催。作家 つつみあれいさんの絵本作品を展示した。
- ・ 夏休みおはなし会スペシャル「お・ば・け・だ・ぞ～」
7月21日開催。ボランティアグループ「とっぴんぱらりのふう」による紙芝居の読み聞かせやエプロンシアター、影絵等を行った。約50人参加。

施策の成果及び執行実績

- ・ 図書館体験&探検しよう
7月23日・8月4日開催。小学生を対象に、施設見学と、図書館の仕事体験を行った。各日5人ずつ参加。
- ・ 手作りカレンダー教室
7月27日開催。図書館職員が講師になり、参加者とカレンダーを作成した。16人参加。
- ・ 子どもと本をつなぐ志摩(まち)づくり
8月19日開催。滋賀県東近江市立八日市・永源寺・愛東図書館長 巽照子さんを講師に、「地域振興と子どもを育てる」視点から、図書館の役割とそれを支える活動について講演を行った。13人参加。
- ・ 二胡と朗読の世界へ
8月25日開催。絵本「木を植えた男」を朗読し、二胡とピアノの伴奏を行った。朗読：中世古珠美さん、二胡：大塚庸子さん、ピアノ：新田誠さん。23人参加。
- ・ 読書週間スタンプラリー
10月24日～11月19日開催。読書週間にあわせて実施。図書館の本を読んで感想を書いてもらい、5冊読むと参加賞を渡した。幼児～中学生延べ22人参加。
- ・ 朗読ライブ 花笑み朗読会
11月5日開催。朗読グループ「花笑み」による、大人向けの小説朗読会を行った。35人参加。
- ・ 「三重の聖地展」
11月19日～1月27日開催。図書館所蔵の伊勢・熊野等に関する図書の展示及び貸出を行った。三重県立図書館連携協力。
- ・ 「大人のためのよみきかせボランティア講座」講演会
12月8日開催。日本こどもの本研究会岡崎支部長 霜田美津子さんを講師に、読み手の大人を対象にした、読み聞かせの基本やコツ等についての講演を行った。20人参加。
- ・ おはなし会クリスマススペシャル「おもちゃのクリスマスパーティー」
12月22日開催。ボランティアグループ「とっぴんぱらりのふう」と図書館職員による読み聞かせ、ハンドベル演奏、影絵等を行った。約60人参加。
- ・ 出張よみきかせ
1月16日開催。図書館職員が磯部子育て支援センターへ行き、読み聞かせを行った。30人参加。
- ・ 志摩人形劇フェスティバル2013
3月31日開催。志摩人形劇フェスティバル実行委員会主催(共催：志摩市教育委員会、志摩木曜倶楽部)の人形劇。40人参加。

施策の成果及び執行実績

(志摩図書館)

- ・ よみきかせかい(赤ちゃん向け)
毎月第1水曜日開催。図書館職員とボランティアによる、絵本の読み聞かせや手遊びなどを行った。
- ・ よみきかせかい
毎月第4土曜日開催。ボランティアグループ(ピーターパンの会)による、絵本の読み聞かせやストーリーテリング、手遊び・指遊びなどを行った。
- ・ 子ども読書週間スタンプラリー
4月23日～5月12日開催。子ども読書週間にあわせて実施。図書館の本を読んで感想を書いてもらい、5冊読むと参加賞を渡した。幼児～中学生延べ12人参加。
- ・ リサイクルフェア
5月と10月の第2土曜日・日曜日開催。保存期間の過ぎた雑誌や廃棄図書などを、図書室来室者にリサイクルを行った。5月は延べ51人137冊、10月は延べ88人336冊。
- ・ 七夕まつり
7月5日～7日開催。来館者に願い事を短冊に書いてもらい、室内に設置した笹にかざった。
- ・ 手作りカレンダー教室
8月1日開催。図書館職員が講師になり、参加者とカレンダーを作成した。27人参加。
- ・ 「東北を知ろう東北へ行こう!2」月間展示
8月1日～8月31日開催。東北に関する図書やパンフレット等を展示した。三重県立図書館連携協力。
- ・ 読書週間スタンプラリー
10月24日～11月29日開催。読書週間にあわせて実施。図書館の本を読んで感想を書いてもらい、5冊読むと参加賞を渡した。幼児～中学生延べ12人参加。
- ・ 「三重の聖地展」
11月6日～12月26日開催。図書館所蔵の伊勢・熊野等に関する図書の展示及び貸出を行った。三重県立図書館連携協力。

○ 広報活動

- ・ 「広報しま」に図書館だよりを掲載。(全館室共通)
- ・ 志摩市立図書館ホームページでの情報発信。(全館室共通)
- ・ 「としょかんだより」を毎月発行。(市立図書館、志摩図書館)

○ 図書館運営

・ 歳出

図書資料購入費	2,999,972 円	
(内訳) 市立図書館 図書資料	1,861,529 円	1,114 冊
市立図書館 視聴覚資料	88,605 円	21 点
志摩図書館 図書資料	495,501 円	412 冊
志摩図書館 視聴覚資料	51,927 円	16 点
磯部図書館 図書資料	502,410 円	329 冊

施策の成果及び執行実績

・歳入

利用者カード再交付手数料	19,200 円	
(内訳) 市立図書館 受付分	14,700 円	98 件
志摩図書室 受付分	2,850 円	19 件
磯部図書室 受付分	1,200 円	8 件
浜島図書室 受付分	450 円	3 件
大王図書室 受付分	0 円	0 件

○ その他

(市立図書館)

・ 職場体験学習の受入

5月30日～6月1日	和具中学校 2年生	3人
7月23日・7月25日～27日	志摩高等学校 2年生	3人
8月6日・8月8日～9日	安乗中学校 2年生	2人
10月3日～10月4日	文岡中学校 2年生	3人
10月24日～10月25日	東海中学校 2年生	3人

・ 社会見学での来館

6月20日	立神小学校	30人
12月14日	畔名小学校	9人
3月1日	畔名小学校	5人

・ 移動図書館

市内の図書館(室)から居住地が遠く、利用が困難な小学校の図書館との連携をはかり、市内図書館(室)の図書資料を小学校に運搬し、通学する児童に貸出した。的矢小学校、安乗小学校、船越小学校、成基小学校、越賀小学校、片田小学校で実施。6校へ年間合計4,069冊貸出。

(志摩図書室)

・ 職場体験学習の受入

5月30日～6月1日	和具中学校 2年生	2人
------------	-----------	----

施策の成果及び執行実績

○ 図書館資料 (平成25年3月31日現在) (単位：冊)

	分類	市立	磯部	志摩	大王	浜島	合計
一般書	0 総記	4,658	1,832	312	235	286	7,323
	1 哲学	3,446	935	330	309	305	5,325
	2 歴史	7,976	3,922	732	860	932	14,422
	3 社会科学	13,463	3,557	1,046	686	1,147	19,899
	4 自然科学	7,250	1,394	738	471	463	10,316
	5 技術	9,481	1,442	1,041	496	614	13,074
	6 産業	4,028	1,092	344	241	255	5,960
	7 芸術	10,782	2,499	1,063	771	1,529	16,644
	8 語学	2,150	498	186	109	171	3,114
	9 文学	31,885	10,844	4,252	4,680	4,001	55,662
	(内)郷土資料	3,296	5,940	775	507	504	11,022
	一般書合計	95,119	28,015	10,044	8,858	9,703	151,739
児童書	0 総記	469	154	73	60	166	922
	1 哲学	317	27	52	40	25	461
	2 歴史	1,343	306	391	117	196	2,353
	3 社会科学	1,162	343	245	79	171	2,000
	4 自然科学	2,199	691	514	250	291	3,945
	5 技術	1,051	247	237	73	72	1,680
	6 産業	602	236	160	30	45	1,073
	7 芸術	1,196	431	391	83	178	2,279
	8 語学	448	109	78	48	27	710
	9 文学	10,214	2,178	2,265	819	1,765	17,241
	E 絵本	9,766	2,667	2,400	698	1,115	16,646
	紙芝居	714	511	145	56	81	1,507
児童書合計	29,481	7,900	6,951	2,353	4,132	50,817	
図書合計	124,600	35,915	16,995	11,211	13,835	202,556	
雑誌	1,734	1,711	721	176	36	4,378	
視聴覚資料	ビデオ	953	0	357	0	21	1,331
	DVD	277	0	142	0	7	426
	CD	2,012	0	713	0	0	2,725
	カセット	318	0	0	0	0	318
	視聴覚資料合計	3,560	0	1,212	0	28	4,800
全資料合計	129,894	37,626	18,928	11,387	13,899	211,734	

施策の成果及び執行実績

○ 図書館利用状況 (単位：日、人、冊)

区分	市立	磯部	志摩	大王	浜島	合計	
開館日数	284	286	284	296	293	1,443	
貸出人数	33,569	3,815	7,080	406	169	45,039	
貸出冊数	一般書	82,040	6,746	11,386	1,374	337	101,883
	郷土資料	9	332	30	0	0	371
	児童書	40,213	8,029	8,019	155	124	56,540
	雑誌	5,361	782	1,593	6	1	7,743
	視聴覚資料	9,044	0	2,805	0	6	11,855
	合計	136,667	15,889	23,833	1,535	468	178,392

○ 利用登録者数 (単位：人)

地区	登録者数
浜島町	782
大王町	1,147
志摩町	2,382
阿児町	6,119
磯部町	1,773
その他	619
合計	12,822

※平成25年3月31日現在の1館4室全体の登録者数

【点検及び評価】

図書館資料の収集・分類・保管を行ない、利用者サービスの充実を図った。また、来館者が快適・安全に利用できるよう、施設の保守点検を行うとともに親しまれる図書館づくりにむけて各種事業を行った。なお、情報提供の場として、コンピュータ研修室の開放も継続して行った。子ども読書活動支援として、移動図書館を継続して行った。乳幼児期の読書活動支援として子育て支援センターへ出張よみきかせを行った。今後も充実した市民サービスに努めていきたい。

② 図書システム更改事業 28,046,109 円 【生涯学習人権教育課】

図書システム（図書館管理業務及び利用者サービス提供システム）の更改業務。
市立図書館が保有する図書データを使用して、円滑な図書館サービスを提供できるシステムの構築。保守限界を迎えたサーバ及び端末などを最新の機器にリプレースし、システムのバージョンアップを行った。端末は市立図書館のほか4図書室（浜島・大王・志摩・磯部）にも引き続き配置。

施策の成果及び執行実績

○ 図書館ホームページの機能更新

- ・ 主な変更点
処理速度の向上、図書の貸出期間延長機能追加、ホームページでの予約のリアルタイムな反映（旧システムでは、職員が手動で操作後、反映されていた）

【点検及び評価】

市立図書館と4図書室を結んだ図書館情報ネットワークシステムの更改により、図書の貸し出し・返却・検索などの利用者サービスの処理速度が速くなり、資料動向がリアルタイムで利用者にわかることによって、資料の有効活用を図ることができた。

(2) 歴史民俗資料館費

① 歴史民俗資料館管理運営費 6,626,506 円 【生涯学習人権教育課】

○地域の古文書を収集・調査研究し、図録にまとめ、市内の小中学校・市外の博物館や公共図書館等へ寄贈し、その他は一冊900円で販売

需用費	図録作成事業	595,350 円
	「古文書から学ぶ 安政東海地震と大津波」72P・A4版	700冊発行
報償費	図録挿し絵制作謝礼	30,000 円
工事請負費	案内看板設置工事	412,650 円

【点検及び評価】

3月に発行した「安政東海地震と大津波」は、新聞やテレビなどのマスコミにも取り上げられた結果、多数販売することができた。学校では防災教育にも使用されるなど、県内外からも高い評価を得ている。特に、実際津波被害のあった地区の方々の関心は高く、資料館への見学時に説明することで、防災意識向上の一助となっている。

② 歴史民俗資料館事業 2,518,700 円 【生涯学習人権教育課】

需用費	開館に伴うポスター・チラシ・パンフレット印刷	227,750 円
委託料	開館に伴う基本展示パネル作成	539,700 円

○企画展開催事業

- ・ 松原豊写真展 開催 4月24日～5月13日 三重県立図書館連携展示
- ・ 三重県立博物館移動展示
- ・ 海の恵みとにぎわい～英虞湾と熊野灘から～ 7月25日～9月2日（2,405人）
- ・ 巨大絵本展示 7月25日～9月2日
- ・ 芭蕉さんがやってくる 7月25日
- ・ 展示解説ツアー 7月25日・7月28日
- ・ 夏休みの自由研究相談会 7月28日
- ・ 三重県立博物館長と語ろう 7月28日
- ・ 三重大学連携 新県立博物館シンポジウム
「志摩の自然を活かす」～地域と大学と博物館の連携から～ 8月25日（201人）
- ・ 東北を知ろう、東北へ行こう！開催 9月7日～16日
三重県立図書館連携展示
- ・ 第一回企画展「古事記絵図 河原悦人の世界」 開催 9月25日～1月13日
- ・ 三重の聖地展開催 12月11日～1月30日 三重県立図書館連携展示
- ・ 三重の古写真展開催 2月13日～2月27日 三重県立博物館主催(633人)

施策の成果及び執行実績

○体験教室・講座

事業名	開催日	参加者(人)	備考
絵手紙教室	7月24日	14	
干支作り教室	12月22日	7	
ミュージアムトーク みえものがたり	2月3日	30	
古文書学習会	毎月第3土曜日	延べ12回実施	会員17人

○資料貸出・閲覧件数

貸出

貸出日	資料名	貸出先
4月14日	昭和30年代写真	個人
1月25日	海女道具一式	伊勢志摩観光コンベンション機構
1月31日	浦口楠一パネル写真 28点	海の博物館

閲覧・撮影

4月14日	金烏文白銅鏡・玉兔文白銅鏡	個人
6月4日	地震関係古文書	南伊勢町古文書学習会
6月27日	見瀬辰平関係資料	山田篤美(歴史研究者)
8月8日	郷土志摩 37号	滋賀県立大学留学生
8月9日	展示室志摩市年表	市内歴史研究者
8月28日	市川清流肖像画	産経新聞社記者
11月9日	的矢港写真(明治時代)	志摩市文化財調査委員会

○資料館入館者

(単位：人)

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	598	1,613	74	466	608	395	418	814	407	5,393

※7月24日資料館オープン

※9月3日～24日の間、常設展示設置のため休館

○図書館関連事業 ※統計関係は市立図書館の頁に記載

併設館としての特色を充分生かし「生涯学習の核」として、また親しみやすさを感じる館となるよう、次の事業を実施した。

○季節の絵本コーナー設置

月	内容	月	内容
4月	入学おめでとう	10月	秋・森
5月	学校	11月	冬支度
6月	雨・カエル	12月	クリスマス
7月	課題図書	1月	お正月
8月	課題図書	2月	節分・雛まつり・春の足音
9月	秋・運動会・遠足	3月	春の訪れ

施策の成果及び執行実績

○図書、雑誌リサイクルフェア

期 日	3月9日・10日
リサイクル対象	雑誌・図書等 200冊

○社会見学等での来館

10月4日	神明小学校	40人
10月12日	龍山町老人クラブ連合会	45人
11月17日	郡上市文化協会	20人
12月14日	三重県博物館協会スキルアップ研修会	30人
1月24日	浜島小学校	23人
1月12日	磯部小学校	38人
1月30日	畔名小学校	6人
1月30日	成基小学校	6人
2月5日	伊勢志摩地区明るい選挙推進連絡協議会	
2月15日	国府小学校	30人
3月6日	成基小学校	5人

○職場体験学習の受入

5月23日～25日 磯部中学校 2年生 2人

【点検及び評価】

三重県立博物館・三重県立図書館の協力を得て、企画展や体験講座、講演会等を開催した結果、多くの来館者があった。9月に開催した「古事記絵図」展は、優雅な日本画の魅力に触れ、郷土出身の画家を見直すきっかけとなった。「昔の暮らし」を学習するための小学校の見学も増え、郷土学習の一翼を担うことができた。今後は、図書室との併設館としての利点を活かし、地域資料の収集・調査研究を更に進め、歴史民俗資料館の充実を図る。

施策の成果及び執行実績

8 人権教育振興事業費

- (1) 人権教育一般経費 2,103,415 円 【生涯学習人権教育課】
人権が尊重されるまちづくりのため、関係機関や諸団体との協力、連携のもと人権教育の推進と啓発活動を実施した。
- ①社会教育指導員 委嘱…1人
社会教育のうち主に人権教育に関する指導、助言を行う。市内幼稚園・小中学校へは人権教育の実践研究を通じて交流を行い、人権教育の充実を図った。(週5日)
社会教育指導員報酬 1,680,000円 同費用弁償 131,080円
- ②その他経費
職員時間外手当 242,989円 消耗品費 49,346円
- (2) 人権教育関係補助金 960,000 円 【生涯学習人権教育課】
学校教育や地域における社会教育を通して、人権文化を構築する主体者づくりをめざすため、人権教育に携わるすべての保育・教育関係職員の連携と連帯を土台にした人権教育の研修、実践を推進し、あらゆる差別の解消と人権の確立をめざすため、志摩市人権教育研究会へ補助金を交付した。
- (3) 人権感覚あふれる学校づくり支援事業 760,000 円 【生涯学習人権教育課】
市内各中学校区を単位として、代表校へ児童・生徒のための人権・同和教育の実践及び研修活動を委託した。
委託金 60,000円×10中学校区=600,000円
160,000円×1中学校区=160,000円(越賀中学校区)
※越賀中学校区にて鳥羽志摩人権教育実践交流会を開催。
- (4) 人権講座開催事業 96,400 円 【生涯学習人権教育課】
あらゆる人権課題の解決をめざし、人権文化を育てるため、以下の内容で実施した。
第1回「自分を見つめることから始めませんか?～市民意識調査から考える～」
第2回「『ことば・表現・差別』再考」(人権文化)
第3回「参加と対話で学ぶメディア・リテラシー」(情報化社会と人権)
第4回「子どもに“性”の話ができますか?」(子どもの人権・公開講座)
参加者:174人
報償費 80,000円 旅費 16,400円
- (5) しまふれあい人権フォーラム事業 404,000 円 【生涯学習人権教育課】
市民が、学校で人権学習を受けている児童・生徒と心の交流を図ることにより、自分を見つめ直し、互いの人権感覚を高め、人権問題を市民一人一人のものとし、その解決に向け主体的に行動できる人権意識の高揚をめざしフォーラムを実施した。
参加者:789人
バス借上料 404,000円

施策の成果及び執行実績

- (6) 子ども支援ネットワーク構築事業 ・ ・ ・ ・ ・ 748,522 円 【生涯学習人権教育課】

教育的に不利な環境のもとにある子どもの学力向上を支えるため、いじめなどの背景にあるものを解決し、未然に防止するための地域連携の仕組みとして「子ども支援ネットワーク」を構築し、子どもたちの自尊感情や学習意欲の向上を図る取り組みを行った。（磯部中学校区）

報償費 510,000円 旅費 161,540円 消耗品費 40,735円 燃料費 7,247円
市有大型バス運転業務委託料 29,000円

- (7) 人権教育研修プログラム作成事業 ・ ・ ・ ・ ・ 599,820 円 【生涯学習人権教育課】

教職員の人権教育に関する実践力の向上を図るため、県教育委員会と連携し、人権教育に関する教職員研修の基準を示す教職員「研修プログラム」を作成した。

報償費 260,000円 旅費 252,820円 消耗品費 44,240円
印刷製本費 42,760円

【点検及び評価】

指導者育成とスキルアップのため、今後とも学校・幼稚園等関係機関と連携し、職員等への研修の場を積極的に提供していく必要がある。本年度は、教職員「研修プログラム」の作成に取り組んだ。中学校区の取り組みにおいては、本年度一校区において県委託事業が実施されたが、生活を通して不利な環境にある子どもを支援できる地域とのネットワークが待望されている。

人権感覚あふれる学校づくり支援事業では、11中学校区に人権・同和教育の実践及び研修活動の委託を行った。志摩市合併後継続している事業であり、各校区における安定した事業運営ができてきている。今後は、各校区のニーズを踏まえ、柔軟に事業展開ができるよう工夫をこらしてゆきたい。

人権フォーラムにおいては、児童生徒が人権について自分の思いや意見を発表し、交流することを通じ、互いの人権感覚を養い高め合うことができた。また、市民が子どもたちの考えや思いを知り、さまざまな人権問題の解決に向けて自分ができることを考える機会となった。今後も、教育的効果が期待できるよう内容の充実に努めていく。

人権講座等各種事業については、住民主体の人権教育の推進と、自ら啓発活動が行える人材の育成、人権学習の機会の提供に努めた。出席者数からは一定の評価ができる。今後は、時代や受講者のニーズに応じた講座を開催するなど出席者の増加と、意識の高揚をさらに図る必要がある。

施策の成果及び執行実績

9 教育集会所運営費

(1) 教育集会所管理運営費 4,050,923 円 【生涯学習人権教育課】

- ・ 運営委員会の開催…教育集会所の適切な管理運営を行うために年2回（9月・3月）の運営委員会を実施。
- ・ 臨時職員の任用（2名）

(2) 人権学習会事業 535,432 円 【生涯学習人権教育課】

社会の中に根強く残っている不合理な部落差別をなくすために、関係諸機関等と協力しながら、地域の実情に即した人権学習及び児童・生徒の教育向上のための教科学習活動等を行った。

事業内容	実 績 等
関係諸機関連絡会議	関係機関との連携を図るために実施 年12回
人権教育推進研修会	人権教育推進のための研修会を実施 年 3回
人権学習会	小学生 年29回 延べ人数331人
	中学生 年15回 延べ人数371人
高校生の集い	人権学習希望生徒を対象に実施 年12回 延べ人数103人
人権学習発表会	学習会で学んだことを発表 1月20日実施 参加者数約250人
小・中研修会	小学4・5・6年生研修会 年1回 参加者数19人
	中学生研修会 年1回 参加者数31人
広報活動	館たより「高峠山」の発行 年12回発行
勉強会	小学生勉強会 年37回 延べ人数634人
	中学生研修会 年38回 延べ人数683人
人権学習等の協力	保育所1回、小学校22回、中学校5回
愛育会活動との連携	役員会、総会、清掃活動、小中学年別保護者会議等への協力
地区内各種団体との連携	分館運営委員会、プール清掃活動、盆踊り、文化祭への協力

【点検及び評価】

人権学習事業は地区をこえた参加者も多くなり、教育現場等において差別性を指摘することができる児童生徒が育ってきている。学習会事業においては、進路保障を目的とした課題克服に寄与できたが学年によっては厳しい部分もあるため、今後も引き続き継続した取り組みが必要である。。また、志摩市内の学校からの教職員の部落問題研修、子どもたちの出会い学習を受け入れ、指導・助言を行うなど、教職員や子どもたちの資質向上に寄与できた。

今後も実態としての差別がある限り、関係機関との緊密な連携のもと、部落差別をはじめあらゆる差別に向き合える児童生徒を育成するとともに、将来における生活の基礎となる進路保障に取り組んでいく必要がある。

施策の成果及び執行実績

VI 保健体育費

1. 保健体育総務費

(1) スポーツ推進事業費

① スポーツ推進一般経費 2,033,758 円 【スポーツ食育課】

○ 主にスポーツ推進委員及びスポーツ推進審議会等のスポーツ推進業務に係る一般事務経費等の支出を行った。

- ・ スポーツ推進委員 (33人)
志摩市スポレク教室及び研修会の開催
東海四県スポーツ推進委員研究大会への参加
三重県・南勢志摩スポーツ推進委員協議会の会議出席及び各種研修会への参加
- ・ スポーツ推進審議会 (12人) 会議を2回開催 (11月28日・3月5日)

② スポーツ振興補助金 4,620,000 円 【スポーツ食育課】

○ 市のスポーツ振興を担う2団体及び全国大会等へ出場する選手に対し活動支援を行うため補助金の交付を行った。

- ・ 志摩市体育協会補助金 2,570,000円
- ・ 志摩市スポーツ少年団補助金 1,620,000円
- ・ 社会体育選手派遣補助金 430,000円 (個人 52件・団体 4件)

【点検及び評価】

市内のスポーツ団体に補助金を交付し、各種競技の技術力の向上及び生涯スポーツの推進を図ることにより、市民の健康づくりや青少年の健全育成を行うことができた。

また、東海大会以上の大会へ出場する選手に交付する社会体育選手派遣補助金については、前年度と比較し国際大会出場選手や全国大会出場団体が増加したことに伴い、補助金交付額も増加に繋がった。

③ 総合型地域スポーツクラブ育成事業 4,000,000 円 【スポーツ食育課】

○ スポーツ活動に参加できる環境づくり等を目的に、浜島スポーツクラブ及び志摩スポーツクラブの活動支援のため総合型地域スポーツクラブ育成補助金の交付を行った。

- ・ 浜島スポーツクラブ補助金 2,080,000円
- ・ 志摩スポーツクラブ補助金 1,920,000円

【点検及び評価】

総合型地域スポーツクラブとして設立以来、補助金を交付し育成支援を行ってきた結果、志摩スポーツクラブについては平成25年度から志摩B&G海洋センター及び志摩総合スポーツ公園の指定管理者として施設管理を行うことになり、今後より一層地域におけるスポーツ振興の充実が期待できる。

また、浜島スポーツクラブについても浜島B&G海洋センター及び浜島ふるさと公園を平成26年度から指定管理者として受託することを目指し現在準備を行っているところである。

施策の成果及び執行実績

- ④ 美し国三重市町対抗駅伝事業 700,000 円 【スポーツ食育課】
○ 平成25年2月17日開催の第6回美し国三重市町対抗駅伝（県庁～県営総合陸上競技場）に出場する志摩市代表チームの選手選考、選手強化及び大会参加事務等の委託業務
- 契約名 美し国三重市町対抗駅伝業務委託
契約相手方 美し国三重市町対抗駅伝 志摩市組織委員会
契約金額 700,000円

【点検及び評価】

今年度は、総合12位、市の部10位という結果であったが、前年に比べ順位を1つずつ上げることができた。今後も引き続き上位入賞を目指し、選手の強化を図っていききたい。

- ⑤ スポーツ教室開催事業 1,000,000 円 【スポーツ食育課】
○ 志摩市出身の山口舞選手が所属する「岡山シーガルズ」を招いて、主に小・中学生を対象としたバレーボール教室を開催するための委託業務
- 契約名 岡山シーガルズバレーボール教室開催業務委託
契約相手方 「Vリーグ岡山シーガルズバレーボール教室」開催実行委員会
契約金額 1,000,000円
- ・ 教室開催日 平成24年9月2日
 - ・ 開催会場 阿児アリーナ オーシャンホール
 - ・ 参加者総数 239人

【点検及び評価】

トップアスリート、特にオリンピック選手で志摩市出身の山口舞選手による直接指導を受けることにより、バレーボールの技術の向上と少しでも身近に感じながらスポーツに対する取り組む姿勢や意識の高揚を図ることができた。また、指導者にとっても正しい指導方法を身につけることにより、指導力や技術レベルの向上を図ることができた。

- ⑥ オリンピック出場応援事業 500,000 円 【スポーツ食育課】
○ 志摩市出身の山口舞選手が女子バレーボール全日本女子チームの代表としてロンドンオリンピック出場への応援に関する委託業務
- 契約名 オリンピック出場応援事業業務委託
契約相手方 ロンドンオリンピック山口舞選手を応援する会
契約金額 500,000円

- ・ 応援幟旗、懸垂幕、応援チラシ、応援寄書の作成
- ・ パブリック・ビューイングの実施

阿児アリーナベイホールにおいて平成25年8月3日・8月11日の2日間開催し、延べ700人の参加があった。

【点検及び評価】

委託事業を通じてロンドンオリンピックに出場した山口舞選手を市民が一体となって応援することにより、市全体で盛り上がりを見せることができた。また、山口選手の活躍もあり銅メダル獲得することができ、市民に夢と感動を与えてくれた。その結果、「志摩市スポーツ文化栄誉賞」を創設し、第1号の受賞者となった。

施策の成果及び執行実績

2. 体育施設費

(1) 浜島ふるさと公園施設費

① 浜島ふるさと公園管理運営費 3,125,897 円 【スポーツ食育課】

○ 利用状況

・ 多目的グラウンド (単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	18,000	18	276	10	61,500	31	346
5	35,500	26	424	11	47,500	23	284
6	43,000	27	475	12	34,500	22	620
7	33,500	27	426	1	34,500	21	265
8	34,000	22	344	2	30,500	22	401
9	47,500	29	256	3	33,500	25	412
				合計	453,500	293	4,529

・ テニスコート (単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	31,000	10	66	10	63,000	14	147
5	43,000	13	114	11	37,500	9	70
6	45,000	11	94	12	26,000	9	57
7	46,000	12	95	1	35,500	11	70
8	58,000	12	105	2	29,500	10	59
9	51,500	16	117	3	34,500	12	83
				合計	500,500	139	1,077

(2) 志摩総合スポーツ公園施設費

① 志摩総合スポーツ公園管理運営費 2,608,003 円 【スポーツ食育課】

○ 主な業務委託

契約名 志摩B&G海洋センター・志摩総合スポーツ公園草刈り業務委託
 契約相手方 公益社団法人 志摩市シルバー人材センター
 契約金額 1,150,000円

○ 利用状況 (単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	23,250	25	523	10	34,500	37	1,015
5	35,500	32	563	11	34,750	35	455
6	33,000	29	404	12	21,000	23	578
7	44,500	23	1,022	1	17,500	30	516
8	51,000	39	477	2	30,000	28	793
9	37,750	31	940	3	31,500	51	914
				合計	394,250	383	8,200

施策の成果及び執行実績

(3) 長沢野球場施設費

① 長沢野球場管理運営費 4,071,863 円 【スポーツ食育課】

○ 主な業務委託

契約名 志摩市長沢運動公園等景観保全事業業務委託
 契約相手方 公益社団法人 志摩市シルバー人材センター
 契約金額 915,000円（うち長沢野球場分 415,920円）

○ 利用状況 (単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	42,000	12	413	10	84,000	17	505
5	90,000	23	680	11	43,000	8	463
6	42,000	9	388	12	0	5	430
7	83,000	20	635	1	0	5	191
8	72,500	22	664	2	0	6	499
9	63,000	17	541	3	98,500	20	784
				合計	618,000	164	6,193

(4) 阿児テニスコート施設費

① 阿児テニスコート管理運営費 1,336,507 円 【スポーツ食育課】

○ 主な業務委託

契約名 志摩市長沢運動公園等景観保全事業業務委託
 契約相手方 公益社団法人 志摩市シルバー人材センター
 契約金額 915,000円（うち阿児テニスコート分 166,360円）

○ 利用状況 (単位：円、件、人)
 ・ テニスコート

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	0	0	0	10	0	0	0
5	10,000	4	49	11	4,500	3	62
6	3,000	1	17	12	38,500	3	220
7	0	0	0	1	6,000	2	28
8	12,000	3	52	2	6,000	1	16
9	9,500	2	24	3	43,000	5	321
				合計	132,500	24	789

施策の成果及び執行実績

・ 阿児ふるさと公園（多目的広場） (単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	31,500	20	708	10	43,500	18	510
5	33,000	13	323	11	25,000	9	309
6	31,500	13	267	12	14,000	12	513
7	30,000	18	672	1	3,000	6	192
8	37,000	21	810	2	0	5	1,226
9	48,000	21	810	3	0	3	209
				合計	296,500	159	6,549

【点検及び評価】

スポーツ施設の利用率等（指定管理者制度を導入している施設は除く）は前年度と比較し、使用料は16%増、延団体数は38%増、使用人数は19%増と平均的に増加傾向であった。

なお、ほとんどのスポーツ施設は、経年劣化や老朽化が著しく改修工事が必要となっている状況であるが、多額の改修費用がかかるため、今後は計画的な施設改修等を検討していく必要がある。

(5) 賢島スポーツガーデン施設費

① 賢島スポーツガーデン管理運営費 2,093,450 円 【スポーツ食育課】

○ 指定管理者制度導入による賢島スポーツガーデンの管理運営

指定管理者 株式会社 代々木高校

指定管理料 2,000,000円/年

指定管理期間 平成24年度～平成26年度（3か年）

【点検及び評価】

賢島スポーツガーデンについては、指定管理者制度の導入に伴い平成24年度から3年間株式会社代々木高校が管理・運営を行っている。なお、利用率等については、前年度と比較し増加傾向となっているが、夜間の利用率が低く、今後の検討課題となっている。

(6) 長沢運動公園グラウンド管理費

① 長沢運動公園グラウンド管理運営費 449,600 円 【スポーツ食育課】

○ 主な業務委託

契約名 志摩市長沢運動公園等景観保全事業業務委託

契約相手方 公益社団法人 志摩市シルバー人材センター

契約金額 915,000円（うち長沢運動公園グラウンド分 332,720円）

施策の成果及び執行実績

○ 利用状況 (単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	0	2	107	10	0	0	0
5	7,000	3	295	11	0	6	72
6	0	0	0	12	0	4	251
7	0	3	40	1	0	0	0
8	0	5	62	2	0	8	421
9	0	0	0	3	0	7	131
				合計	7,000	38	1,379

(7) 磯部ふれあい公園管理費

① 磯部ふれあい公園管理運営費 22,312,810 円 【スポーツ食育課】

○ 指定管理者制度導入による磯部ふれあい公園及び磯部プールの管理運営

指定管理者 特定非営利活動法人 いそべスポーツクラブ

指定管理料 22,000,000円/年

指定管理期間 平成23年度～平成25年度 (3か年)

【点検及び評価】

磯部ふれあい公園（磯部プール含む）については、指定管理者制度の導入に伴い平成23年度から3年間NPO法人いそべスポーツクラブが施設の管理・運営を行っており、通算では5年目であり、安定した運営を行っている。

今後も引き続き、地域に密着したスポーツ振興の拠点施設として期待される。

(8) 迫塩社会体育館施設費

① 迫塩社会体育館管理運営費 581,062 円 【スポーツ食育課】

○ 利用状況 (単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	4,250	9	170	10	7,000	15	259
5	3,500	7	98	11	6,500	14	208
6	4,750	12	189	12	9,500	22	242
7	8,500	18	330	1	9,500	21	286
8	6,250	14	201	2	9,000	21	272
9	6,500	13	305	3	11,500	28	339
				合計	86,750	194	2,899

(9) 学校体育施設管理費

① 学校体育施設管理運営費 2,283,388 円 【スポーツ食育課】

○ 利用登録団体数 (単位：団体)

区分	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
登録団体数	9	23	30	87	23	172

施策の成果及び執行実績

○ 利用状況

・ 学校夜間照明 (単位：円、件、人)

区分	使用料	団体数	使用人数
浜島地区	-	-	-
大王地区	148,000	74	1,732
志摩地区	142,000	78	2,143
阿児地区	152,000	111	3,284
磯部地区	199,000	111	3,352
合計	641,000	374	10,511

・ 学校体育館 (単位：円、件、人)

区分	使用料 (円)	団体数	使用人数
浜島地区	73,500	395	5,370
大王地区	279,000	715	7,850
志摩地区	329,000	1,190	15,272
阿児地区	862,750	2,366	36,474
磯部地区	438,000	817	9,202
合計	1,982,250	5,483	74,168

【点検及び評価】

学校開放施設については、利用者の利便性と安全性を確保するため随時施設修繕を行った結果、利用状況は前年度と比較し微減であったが、各地区におけるスポーツ活動の推進を図ることができた。

今後は、学校再編に伴う体育施設の利活用に関する調整（廃止を含む）を行う必要がある。

施策の成果及び執行実績

3 学校給食管理費

(1) 学校給食一般経費 157,613 円 【スポーツ食育課】

○ 学校給食センター運営委員会の開催

第1回開催日：平成24年7月4日

第2回開催日：平成25年3月15日

委員：小学校長代表1人 中学校長代表1人 幼稚園長代表1人

栄養教諭2人 P T A代表10人 養護教諭代表5人 計20人

【点検及び評価】

学校給食センター運営委員会を開催し、委員である学校長・P T A代表・養護教諭らに対し、給食センターの概要や運営状況及び新学校給食センター整備事業の進捗状況等について説明し、意見等を伺った。

また、学校給食費について、食材の高騰や給食実施回数の増加等による値上げの必要性を示し、特にP T A代表の意見を伺った。給食の回数を減らしたり、給食の質を落とすくらいならば、給食費の値上げはいたしかたないというP T A代表の委員の意見を聞くことができ、給食費の値上げの実施について保護者へ周知していくことなど、具体的に進めていく方向性を見出せた。

○ 学校給食センター従事職員衛生管理研修会の開催

開催日：平成24年8月27日 場所：志摩市役所4階 401・402 会議室

テーマ：H A C C Pを基本にした自主衛生管理（DVD視聴）

参加者：66人（学校給食センター全職員、教育委員会スポーツ食育課担当者）

○ 地場産物を使った「志摩のふるさと給食」を実施

実施日	実施した給食センター	
平成24年11月15日	浜島・大王・志摩・阿児・磯部	市内統一献立
平成24年 6月14日	志摩・阿児	各給食センターによる献立
平成24年 6月15日	浜島・大王	
平成24年 6月20日	磯部	
平成25年 1月23日	浜島	
平成25年 1月24日	阿児・磯部	
平成25年 1月25日	大王・志摩	

【点検及び評価】

子どもたちが地元で採れる産物や旬の食物について知ることができる教材として給食を活用し、各学校において保護者等を招いた試食会などを実施するなど、給食への理解を深めるとともに学校・家庭・地域を巻き込んだ食育の推進に貢献している。

志摩市では給食として地元で大量に準備できる食材が少ないので、21年度より統一献立を年1回（2学期）とし、1学期と3学期は各給食センター単位で、その地域の特色ある地場産物を使った給食を企画した。今後も給食に積極的に地場産物を取り入れ、食育に繋げていく。

施策の成果及び執行実績

(2) 学校給食食物アレルギー対応事業 9,492,782 円 【スポーツ食育課】

○ 学校給食における食物アレルギー対応事業（緊急雇用創出事業）

緊急雇用創出事業を活用し、アレルギー対応専用の臨時職員を任用して、食物アレルギー等を持つ児童生徒への学校給食の除去食・代替食の対応を行った。

臨時職員を配置した給食センター

- ・ 阿児学校給食センター 4人
- ・ 磯部学校給食センター 2人

【点検及び評価】

食物アレルギーをもつ児童生徒に対して、食物アレルギー対応食を提供することにより、みんなと同じように給食と一緒に食べることができている。

緊急雇用創出事業の活用により、人員の確保ができており、施設整備は不十分ながらもきめ細かな対応ができている。今後も、できる限りの対応を継続して行い、新学校給食センターにおいても、アレルギー対応ができる専用の調理室において、さらに気をつけて調理を行っていくとともに、学校での対応についても定期的に注意喚起を行っていく必要がある。

4 浜島給食センター費

(1) 浜島給食センター管理運営費 24,313,463 円 【スポーツ食育課】

○ 浜島学校給食センターの管理運営にかかる経費

- ・ 臨時職員賃金 3,057,525 円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	2	0	1	3	2

- ・ 施設及び設備の修繕の状況

《主な修繕》

ガス供給設備修繕 160,650円

給食運搬車修理（車検）147,054円

※ 施設修繕料 (円)

年度	23年度	24年度
金額	205,675	340,515

※ 備品修繕料 (円)

年度	23年度	24年度
金額	932,584	182,544

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	1	1	1	1	1	5
食数	59	171	139	9	43	421

* 幼稚園及び保育所は幼保園です。

施策の成果及び執行実績

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	195日（保育所 234日）
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

③給食費徴収金

区分	月額	日額	備考
幼稚園	3,600円	210円	幼稚園教職員
小学校（低学年）	3,400円	200円	
小学校（中学年）	3,600円	210円	
小学校（高学年）	3,800円	220円	小学校教職員、給食センター職員
中学校	4,100円	230円	中学校教職員、ALT

④浜島学校給食センターにおける給食費収支状況（平成24年度現年度分）（円）

給食費徴収金調定額	給食費徴収金収納額	賄材料費	収入未済額
13,599,080	13,599,080	13,695,140	0

⑤給食費徴収金（滞納分）の状況（円）

	幼稚園	小学校	中学校
平成23年度までの滞納額	0	0	0
平成24年度中の収納額	0	0	0
差引滞納額	0	0	0

○ 大王学校給食センターの管理運営にかかる経費

- ・ 臨時職員賃金 7,961,080 円

※職員の状況（人）

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	2	1	1	4	5

- ・ 施設及び設備の修繕の状況

《主な修繕》

空調機修理工事	391,650円
蒸気ボイラー制御盤部品交換	262,500円
超音波洗浄機修理	150,780円
真空冷却機品温センサー排水不良修理	113,400円

※施設修繕料（円）

年度	23年度	24年度
金額	642,501	864,045

※備品修繕料（円）

年度	23年度	24年度
金額	256,536	427,298

施策の成果及び執行実績

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所	合計
施設数	1	3	2	1	1	8
食数	61	300	193	13	150	717

*幼稚園及び保育所は幼保園です。

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	195日（保育所 233日）
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

③給食費徴収金

区分	月額	日額	備考
幼稚園	3,600円	210円	幼稚園教職員
小学校（低学年）	3,400円	200円	
小学校（中学年）	3,600円	210円	
小学校（高学年）	3,800円	220円	小学校教職員、給食センター職員
中学校	4,100円	230円	中学校教職員、ALT

④大王学校給食センターにおける給食費収支状況（平成24年度現年度分）（円）

給食費徴収金調定額	給食費徴収金収納額	賄材料費	収入未済額
21,078,590	21,078,590	21,145,289	0

⑤給食費徴収金（滞納分）の状況（円）

	幼稚園	小学校	中学校	合計
平成23年度までの滞納額	0	0	0	0
平成24年度中の収納額	0	0	0	0
差引滞納額	0	0	0	0

施策の成果及び執行実績

5 志摩給食センター費

(1) 志摩給食センター管理運営費 69,967,793 円 【スポーツ食育課】

○ 志摩学校給食センターの管理運営にかかる経費

- ・ 臨時職員賃金 8,116,095 円
- ・ 給食配送業務委託料 8,862,000 円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	1	0	0	5	5

- ・ 施設及び設備の修繕の状況
《主な修繕》

排水処理施設修繕工事 1,260,000円

※施設修繕料 (円)

年度	23年度	24年度
金額	1,561,076	1,340,924

※備品修繕料 (円)

年度	23年度	24年度
金額	431,420	374,515

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	1	5	3	1	0	10
食数	64	539	371	12	0	986

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	195日
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

③給食費徴収金

区分	月額	日額	備考
幼稚園	3,600円	210円	幼稚園教職員
小学校(低学年)	3,400円	200円	
小学校(中学年)	3,600円	210円	
小学校(高学年)	3,800円	220円	小学校教職員、給食センター職員
中学校	4,100円	230円	中学校教職員、ALT

④志摩学校給食センターにおける給食費収支状況(平成24年度現年度分) (円)

給食費徴収金調定額	給食費徴収金収納額	賄材料費	収入未済額
41,155,570	41,076,140	41,229,944	79,430

施策の成果及び執行実績

⑤給食費徴収金（滞納分）の状況 (円)

	幼稚園	小学校	中学校	合計
平成23年度までの滞納額	0	112,300	20,500	132,800
平成24年度中の収納額	0	0	8,200	8,200
差引滞納額	0	112,300	12,300	124,600

6 阿児給食センター費

(1) 阿児給食センター管理運営費 129,398,518 円 【スポーツ食育課】

○ 阿児学校給食センターの管理運営にかかる経費

・ 臨時職員賃金 8,187,270 円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	4	4	0	9	9

・ 施設及び設備の修繕の状況

《主な修繕》

ボイラー修理 178,500円

自動反転ほぐし機修理 79,800円

プレハブ式消毒保管機修理 51,240円

※施設修繕料 (円)

年度	23年度	24年度
金額	553,606	267,645

※備品修繕料 (円)

年度	23年度	24年度
金額	1,202,461	742,652

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	3	7	3	1	8	22
食数	214	1,349	724	27	447	2,761

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	195日（保育所 233日）
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯は直営、パンを丸仙製パンへ委託

施策の成果及び執行実績

③給食費徴収金

区分	月額	日額	備考
幼稚園	3,600円	210円	幼稚園教職員
小学校（低学年）	3,400円	200円	
小学校（中学年）	3,600円	210円	
小学校（高学年）	3,800円	220円	小学校教職員、給食センター職員
中学校	4,100円	230円	中学校教職員、ALT

④阿児学校給食センターにおける給食費収支状況（平成24年度現年度分）（円）

給食費徴収金調定額	給食費徴収金収納額	賄材料費	収入未済額
96,676,010	96,606,180	96,725,084	69,830

⑤給食費徴収金（滞納分）の状況（円）

	幼稚園	小学校	中学校	合計
平成23年度までの滞納額	0	172,090	878,860	1,050,950
平成24年度中の収納額	0	5,300	103,880	109,180
差引滞納額	0	166,790	774,980	941,770

7 磯部給食センター費

(1) 磯部給食センター管理運営費 51,482,636 円 【スポーツ食育課】

○ 磯部学校給食センターの管理運営にかかる経費

・ 臨時職員賃金 7,668,870 円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	1	1	0	3	7

・ 施設及び設備の修繕の状況

《主な修繕》

第一固定床ばっ気槽ろ材取替修理
1,305,150円

食器保管庫蒸気管修理
218,400円

雑排水処理槽ブロワー用モーター・放流
ポンプ取替修理
141,750円

真空冷却機不良修理
218,400円

給食配送車修理
211,377円

※施設修繕料 (円)

年度	23年度	24年度
金額	772,800	1,855,560

※備品修繕料 (円)

年度	23年度	24年度
金額	196,879	560,712

施策の成果及び執行実績

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	1	3	2	1	0	7
食数	53	407	269	12	0	741

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	195日
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

③給食費徴収金

区分	月額	日額	備考
幼稚園	3,600円	210円	幼稚園教職員
小学校（低学年）	3,400円	200円	
小学校（中学年）	3,600円	210円	
小学校（高学年）	3,800円	220円	小学校教職員、給食センター職員
中学校	4,100円	230円	中学校教職員、ALT

④磯部学校給食センターにおける給食費収支状況（平成24年度現年度分）（円）

給食費徴収金調定額	給食費徴収金収納額	賄材料費	収入未済額
30,867,230	30,735,550	30,942,637	131,680

⑤給食費徴収金（滞納分）の徴収状況（円）

	幼稚園	小学校	中学校	合計
平成23年度までの滞納額	0	713,014	287,500	1,000,514
平成24年度中の収納額	0	264,648	90,700	355,348
差引滞納額	0	448,366	196,800	645,166

施策の成果及び執行実績

・給食費徴収状況（5センターまとめ）

		24年度	23年度	22年度
現年度分	調定額	203,376,480	220,307,536	228,007,960
	収入額	203,095,540	220,097,256	227,588,290
	収入未済額	280,940	210,280	419,670
過年度分	調定額	2,184,264	2,376,151	2,519,109
	収入額	472,728	402,167	562,628
	収入未済額	1,711,536	1,973,984	1,956,481
合計収入未済額		1,992,476	2,184,264	2,376,151

【点検及び評価】

給食費の未納を減らすため、未納通知の発送や電話等により保護者に滞納額の通知を行い支払いをお願いした。「児童手当」の支給があったため、受給者には、通知によりその活用を依頼した。現年度分の未納額が昨年度よりも減少したのは、「子ども手当」の支給があったためと考えられる。今後も未納解消のため引き続き学校と協働しての取り組みが必要とされる。また、裁判所を通じての支払督促等も検討したい。

8 学校給食センター整備事業費

- (1) 学校給食センター整備事業 ・ ・ ・ ・ ・ 449,581,630 円 【スポーツ食育課】
 （繰越明許分 ・ ・ ・ ・ 6,031,630 円 通次繰越分 ・ ・ ・ ・ 443,550,000 円）

《繰越明許分》

- 浄化槽汚泥引抜処理手数料 4,725,000 円

志摩市学校給食センター改築工事に伴い、長沢小公園公衆トイレ横にある旧浄化槽取り壊しのため、汚泥等引抜（最終清掃）業務を実施した。

契約名 浄化槽汚泥引抜処理及び最終清掃業務委託

受注者 志摩環境事業協同組合

契約金額 1m³あたり金15,750円（内消費税等750円）

引抜量313.6m³により金4,986,450円 出精値引金261,450円

工期 平成24年7月2日～平成24年7月31日

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

阿児学校給食センターが下水道につなぐ前に使用していた浄化槽が残っており、新給食センターの建築工事に合わせて取り壊すため、溜まった雨水を引抜き、最終清掃を行った。浄化槽については、使用しなくなったときに取り壊すのが一番いいが、予算の関係でそれができないときにどのようにしておくのかを市役所全体で検討する必要があると思われる。

- 給食受配校改修工事設計業務委託料 299,250 円
委託業務名 平成24年度（23年度繰越事業）学校給食配膳室改修工事实施設計業務
受注者 瀧鼻設計事務所
業務委託料 金299,250円（内消費税等14,250円）
履行期間 平成24年4月23日～平成24年6月30日

- 給食受配校改修工事費 467,250 円

- ・ 安乗小学校、国府小学校、立神小学校、東海中学校において、学校給食をコンテナで受配できるよう、学校給食配膳室の改修工事を実施した。

工事名 学校給食配膳室改修工事
受注者 石川商工株式会社
請負金額 金294,000円（消費税込）
工期 平成24年8月20日～平成24年8月28日

- ・ 志摩市学校給食センターから学校給食を配送するにあたり、配送車の大きさやコンテナ使用等、配送方法が変更になるため、安乗小学校敷地内において、学校給食配送車の搬入路を確保するため、改修工事を実施した。

工事名 学校給食搬入路改修工事
受注者 石川商工株式会社
請負金額 金173,250円（消費税込）
工期 平成24年9月15日～平成24年9月18日

【点検及び評価】

新学校給食センターの供用開始に伴い、今までコンテナによる配送を行っていなかった阿児地区の学校を中心に、給食を受け入れる場所の調査を行い、改修が必要なところを改修した。これにより、学校給食の配送・回収がスムーズにできることとなる。

- 備品購入費 226,800 円
和具小学校・志島小学校において、学校給食をコンテナで受配できるよう、アルミ製スロープを各1台購入した。 1台 113,400円 × 2台

【点検及び評価】

新学校給食センターの供用開始に伴い、コンテナによる給食を受け入れる場所の調査を行い、入口の段差解消のためのスロープを購入した。これにより、学校給食の配送・回収がスムーズにできることとなる。

施策の成果及び執行実績

《通次繰越分》

- 志摩市学校給食センター改築工事施工監理業務委託料 4,860,000 円
 学校給食センター改築工事施工監理業務を実施した。
- 契約名 平成24（23年度繰越）・25年度 教ス食委託第1号
 志摩市学校給食センター改築工事施工監理業務
- 対象工事 志摩市学校給食センター改築工事（建築工事）
 志摩市学校給食センター改築工事（電気設備工事）
 志摩市学校給食センター改築工事（機械整備工事）
 志摩市学校給食センター改築工事（太陽光発電設備工事）
- 受注者 前野・西沢特定建築設計共同企業体
 （事前審査方式 条件付一般競争入札により決定）
- 契約金額 金12,148,500円（内消費税等578,500円）
 H24 4,860,000円 H25 7,288,500円
- 工期 平成24年6月12日～平成25年12月20日
-
- 志摩市学校給食センター改築工事設計意図伝達業務委託料 735,000 円
 志摩市学校給食センター改築工事に関し、設計意図伝達業務を実施した。
- 契約名 平成24（23年度繰越）・25年度 教ス食委託第2号
 志摩市学校給食センター改築工事設計意図伝達業務
- 受注者 田端・勝田特定建築設計共同企業体
 （実施設計を委託した業者であるため、随意契約により決定）
- 契約金額 金1,837,500円（内消費税等87,500円）
 H24 735,000円 H25 1,102,500円
- 履行期間 平成24年6月19日～平成25年12月20日
-
- 志摩市学校給食センター改築工事費（建築工事） 291,900,000 円
 志摩市学校給食センター改築工事（建築工事）を実施した。
- 契約名 平成24（23年度繰越）・25年度 教ス食第1号
 志摩市学校給食センター改築工事（建築工事）
- 受注者 山下・作田特定建設工事共同事業体
 （事前審査方式 条件付一般競争入札により決定）
- 契約金額 金561,309,000円（内消費税等26,729,000円）
 H24 291,900,000円 H25 269,409,000円
- 工期 平成24年6月11日～平成25年12月20日

施策の成果及び執行実績

- 志摩市学校給食センター改築工事費（電気設備工事） 68,355,000 円
志摩市学校給食センター改築工事費（電気設備工事）を実施した。

契約名 平成24（23年度繰越）・25年度 教ス食第2号
志摩市学校給食センター改築工事（電気設備工事）
受注者 日本ファシリオ・志摩電気特定建設工事共同事業体
（事前審査方式 条件付一般競争入札により決定）
契約金額 金179,844,000円（内消費税等8,564,000円）
H24 68,355,000円 H25 111,489,000円
工期 平成24年6月11日～平成25年7月31日

- 志摩市学校給食センター改築工事費（機械設備工事） 77,700,000 円
志摩市学校給食センター改築工事費（機械設備工事）を実施した。

契約名 平成24（23年度繰越）・25年度 教ス食第3号
志摩市学校給食センター改築工事（機械設備工事）
受注者 日管・宮柴特定建設工事共同事業体
（事前審査方式 条件付一般競争入札により決定）
契約金額 金323,568,000円（内消費税等15,408,000円）
H24 77,700,000円 H25 245,868,000円
工期 平成24年6月11日～平成25年7月31日

【点検及び評価】

新学校給食センターの建設工事について、「建築」「機械設備」「電気設備」と分離発注を行い、実施した。施工監理については、実施設計業者以外の業者に発注し、実施設計業者には設計意図伝達業務を委託した。工事関係には、教育総務課の施設係に担当していただき、連絡を密にとりながら事業を進めた。調理員、栄養士の意見も取り入れながら、厳しい工期であるが順調に進んでいる。

施策の成果及び執行実績

9 海洋センター施設費

(1) 浜島海洋センター施設費

① 浜島海洋センター管理運営費 17,512,432 円 【スポーツ食育課】

○ 主な業務内容

- ・ 施設の維持管理及び運営
- ・ B & G財団に関する事務事業
- ・ 志摩スポーツクラブ等生涯スポーツ団体の育成支援

○ 利用状況

・ アリーナ等

(単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	45,350	22	542	10	43,675	24	505
5	39,225	26	783	11	42,200	21	446
6	53,250	25	525	12	35,650	17	381
7	58,400	30	503	1	44,025	33	544
8	45,075	20	329	2	59,000	32	2,613
9	49,600	25	496	3	80,025	43	936
				合計	595,475	318	8,603

・ プール

(単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	91,950	36	857	10	117,875	32	1,120
5	88,450	31	943	11	71,600	35	933
6	112,575	33	1,077	12	48,675	19	496
7	187,475	40	1,556	1	0	0	0
8	129,600	53	1,945	2	0	0	0
9	128,200	32	1,188	3	0	0	0
				合計	976,400	311	10,115

(2) 志摩海洋センター施設費

① 志摩海洋センター管理運営費 13,426,208 円 【スポーツ食育課】

○ 主な業務内容

- ・ 施設の維持管理及び運営
- ・ B & G財団に関する事務事業
- ・ 志摩スポーツクラブ等生涯スポーツ団体の育成支援
- ・ 指定管理者制度導入への準備事務

施策の成果及び執行実績

○ 利用状況

・ アリーナ等

(単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	114,900	56	1,362	10	142,900	70	1,317
5	145,700	70	1,508	11	124,450	70	1,117
6	139,600	70	1,345	12	89,800	45	829
7	121,000	56	1,273	1	92,550	47	834
8	150,800	61	1,623	2	142,800	61	1,145
9	150,000	64	1,518	3	150,600	48	1,353
				合計	1,565,100	718	15,224

・ プール

(単位：円、件、人)

月	使用料	団体数	使用人数	月	使用料	団体数	使用人数
4	0	0	0	10	0	0	0
5	0	0	0	11	0	0	0
6	0	4	175	12	0	0	0
7	79,750	19	1,782	1	0	0	0
8	117,900	15	1,875	2	0	0	0
9	0	0	0	3	0	0	0
				合計	197,650	38	3,832

※学校・園水泳等を含む

【点検及び評価】

地域海洋センターの設立目的である地域の住民を通じての体力向上と心身の健全な発達、住みよい地域社会の形成に努めるとともに、各総合型地域スポーツクラブと連携してスポーツ活動の積極的な推進に努めた。

なお、志摩スポーツクラブについては、平成24年度にNPO法人を設立し、志摩B&G海洋センターの指定管理者として平成25年度から3年間施設の管理・運営を行うこととなった。また、浜島B&G海洋センターの指定管理者制度の導入については、浜島スポーツクラブが受託に向けて協議を進めている。

施策の成果及び執行実績

VII 教育施設災害復旧費

1. 教育施設災害復旧費

社会教育施設災害復旧費 6,498,450 円 【生涯学習人権教育課】

○平成24年9月15日、阿児アリーナ付近への落雷により各機器に破損が確認されたので修繕を行った。

・ 需用費

SOG修繕 295,050 円

屋内消火栓ポンプ制御盤消火栓始動器修繕 101,850 円

・ 工事請負費

総合防災盤修繕工事 3,154,200 円

オーシャンホールデジタル時計修繕工事 1,638,000 円

オイルタンク油面計修繕工事 1,144,500 円

○平成24年9月15日、磯部生涯学習センター付近への落雷により冷暖房機に破損が確認されたので、3台の冷暖房機の修繕を行った。

・ 需用費

修繕料 164,850 円

【点検及び評価】

アリーナ・磯部生涯学習センター付近への落雷により、各機器に破損が確認されたので修繕を行った。いたしかたがない予算執行と考える。

VIII その他

昨年度「いじめへの対応について」意見をちょうだいしています。それを受けまして以下の対応を行いました。

・児童生徒を対象としたいじめ実態把握のためのアンケート（「一人一人が大切にされるための生活アンケート」）を毎学期実施し、いじめの早期発見、再発防止に努めている。

・いじめをはじめとする悩み相談のための窓口を児童生徒に紹介した。

・いじめ事案等、生徒指導上の問題を把握した場合は、各学校に迅速な報告を求めた。なお、事案の状況に応じて、関係者会議を開催し、関係機関と連携しながら、事案の対応にあたっている。

・法務省をとおして、学校における「いじめ」や体罰、家庭内での虐待などの問題に対する活動として、小学校・中学校の児童・生徒に「子どもの人権SOSミニター（便せん兼封筒）」を配布した。

IX 学識経験者の意見

「教育委員会の事務の管理及び執行の状況と点検及び評価」を行うに当たっては、教育に関し学識経験者の知見の活用を図ることが定められていることから、志摩市代表監査委員の山川泰規氏より、平成25年8月7日(水)に監査委員事務局において「平成24年度主要事業」について意見を頂戴した。その主なものについて、以下に記載する。

◎職場体験事業「自分発見！中学生・地域ふれあい事業」(P. 6)

初めは県の事業であったが、その事業がなくなった後は市単独事業で実施しているわけであるが、体験前に事前指導を、体験後に事後指導を、それぞれ行っており、職場で生徒たちは貴重な体験ができるし、また、体験を通して人との出会いなどで感じることも多く、たいへん有意義な事業と感じる。

◎外国語指導助手事業(P. 6)

昨年度までは、緊急雇用で2名を雇用し、小学校に派遣していたが、本年度は、その分がカットとなっているので、今後、学校再編で中学校へのALTの派遣が減ってきたら、その分を、どんどん、小学校に派遣してやってほしい。

◎授業研究指定校モデル事業(P. 7)

子どもたちの表現する力・コミュニケーション能力の育成を目標に取り組んでいる学校が多いが、そのためのスキル・技術・テクニックを教えるなど、より具体的な実践で取り組んでもらえれば、子どもたちに力がつけられると思う。

また、例えば「小学校における外国語活動の充実」みたいに、志摩市とし特色ある教育を打ち出すことも今後検討されてはどうか。

◎教職員の人事等に関する事務に関連して(P. 11)

学校長がリーダーシップを発揮できないとか、教員がマニュアル的なことしか行わないとの話を聞くことがある。学校運営を考えた時、学校は「組織としての取り組み」と「教員各個人の自主性や独自性を発揮した取り組み」がうまく融合することで、より機能的なものとなると思うので、このへんについて時間をかけて研究するのも意義あるものと考ええる。

◎施設管理費(P. 12他)

悪くなったから修繕する、ではなく、計画的に修繕する方が、長い目で見たとき結果として経費削減につながる。そういった意味で、学校再編後も使用する学校を計画的に整備していることは、その施設の延命につながるし、将来の経費削減に寄与することなので、今後も、計画的に実施されたい。

施策の成果及び執行実績

◎ 介助員等配置事業（P. 13他）

対象となる児童生徒へのよりきめ細かな支援のじっしで、それらの児童生徒が成長している話を聞く。また、保護者も喜んでいる。他の児童生徒への良い影響もある。数年前までは、志摩市が先進的に実施している事業であったが、最近は、どの市町においても同様に実施されていることを鑑みても、有意義であることがうかがえる事業である。

◎ 就学援助経費（P. 15他）

保護者の低所得は、子ども自身ではどうにもできないこと。そのことにより、義務教育で格差が発生することはあってはならないことと考える。
この経費は、絶対必要である。

◎ 成人式開催事業（P. 26）

平成25年1月13日に志摩スペイン村で開催された成人式は、実行委員会が組織され、自主的・主体的に実施されたと聞く。自分たちの船出の式を自分たちで作り上げるということは、非常に良いことである。

◎ 給食費の未納（P. 65）

「裁判所を通じての支払督促の検討」が記載されているが、裁判所を通じての支払督促は訴訟に該当するとの考え方があられる。もし訴訟に該当するとなった場合には、一つの事案について、議会の承認が必要となってくる。そうなれば、たびたび議会を開催しなければならなくなるとか、事務手続きが煩雑になり事務担当者の仕事量も膨大なものになるなど、困難を極めることが予想される。
そこで、以前から「志摩市として『債権管理条例』なるものを制定し、その条例に基づき、未収金対策を実施してはいかがか」と、機会あるごとに、担当課に話をしているが、なかなか前進しないので、この条例の制定について、あえてここでも声を出させていただく。

◎ その他（P. 72）

いじめ対策について、「いじめの早期発見・早期対応」、これはこれで大切な取り組みであると思うが、「少しのことでもへこたれない強い子・たくましい子の育成」も大切と考える。